

〔道路メンテナンス年報〕  
**秋田の道路メンテナンス概要**



**2020年11月**  
**秋田県道路メンテナンス会議**

## まえがき

秋田県内の国道や高速道路、県道、市町村道の道路延長は約 24,700 km におよび、その中には約 12,000 橋の橋梁、約 170 箇所トンネル、約 490 施設の道路附属物等があります。また、その道路構造物の多くが高度経済成長期に建設され、道路構造物の老朽化は急速に進んでいます。

例えば、建設後 50 年を経過した橋梁は、架設年次が不明な橋梁を除くと、2020 年 3 月末時点で約 2,300 橋で全体の 28% になりますが、20 年後には 74% の約 6,200 橋まで増加するため、老朽化対策の課題に早期に取り組むことが求められています。

道路構造物の老朽化対策は緊急的・社会的な課題であることから、2014 年度から道路のメンテナンスサイクルの構築に向けて動き出しており、2018 年度までの 5 年間(1 巡目)で、各道路管理者により計画的に点検が実施されたところです。引き続き、2 巡目点検を計画的に進めるとともに、点検結果を踏まえた補修・修繕等を実施していきます。

「秋田県道路メンテナンス会議」は、道路インフラの予防保全・老朽化対策の体制強化を図るために 2014 年度に設立し、これまで道路施設の定期点検計画の策定、地域一括発注、見学会・研修会及び修繕の実施に取り組んできたところです。

「秋田の道路メンテナンス概要」は、秋田県道路メンテナンス会議の取り組みの一環として、県内の道路施設の老朽化の実態やメンテナンスの取り組み実態をとりまとめ、県民や道路利用者に情報発信するとともに、今後の措置方針について提言していくものです。

秋田県道路メンテナンス会議 会長  
(秋田河川国道事務所長) 吉沢 仁

# 目 次

1	道路構造物の現状 .....	1
	(1) 道路構造物の管理者 .....	1
	(2) 道路構造物の急速な老朽化 .....	1
2	秋田の道路メンテナンス概要について .....	2
	(1) 概要 .....	2
	(2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について .....	2
3	橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果 .....	3
	(1) 2019年度(単年度)の点検結果(全道路管理者) .....	3
	(2) 2019年度(単年度)の点検結果(管理者別) .....	4
	(3) 2019年度点検実施施設における判定区分の遷移状況 .....	7
4	1 巡目点検施設の修繕等措置の実施状況(2020年9月末時点) .....	10
	(1) 判定区分Ⅲ・Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況 .....	10
	(2) 判定区分Ⅳの施設の措置状況 .....	14
	(3) 修繕等措置の取り組み事例 .....	15
	(4) 橋梁の損傷傾向 .....	19
	(5) 個別施設計画の策定状況 .....	21
5	道路メンテナンス会議の取り組み .....	23
6	資料編(東北と県全体の比較) .....	25
7	巻末資料 .....	34

# 1 道路構造物の現状

## (1) 道路構造物の管理者

県内の道路には、橋梁やトンネル、道路附属物等といった道路構造物があります。このうち、橋梁の数が最も多く、約7割を市町村で管理しています。

表 1-1 道路管理者別の道路構造物等内訳

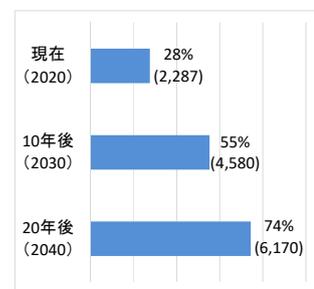
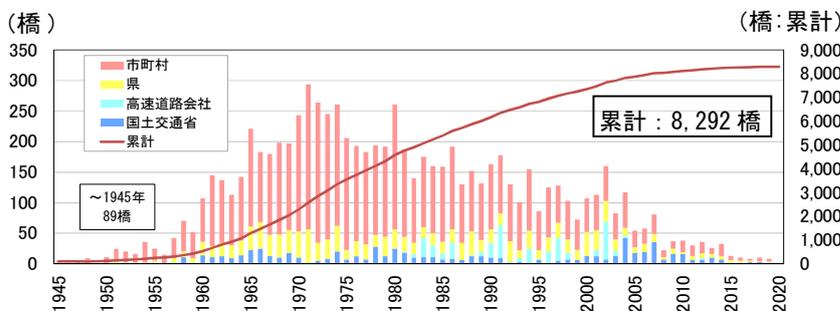
管理者	道路延長 (km)	橋梁 (橋)	トンネル (箇所)	道路附属物等 (施設)	道路附属物等			
					シェッド	大型カルバート	横断歩道橋	門型標識等
国土交通省	511	701	29	182	4	108	22	48
高速道路会社	203	372	20	104	1	73	0	30
県	3,801	2,304	84	160	95	30	12	23
市町村	20,153	8,693	36	45	15	21	7	2
合計	24,669	12,070	169	491	115	232	41	103

※2020年3月末時点  
※道路延長は「道路統計年報2019」より集計

## (2) 道路構造物の急速な老朽化

橋梁やトンネル、道路附属物等といった道路構造物は、その多くが高度経済成長期に建設され、今後、これらの道路構造物の老朽化が急速に進みます。

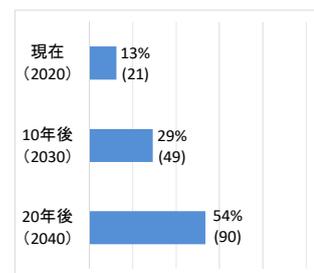
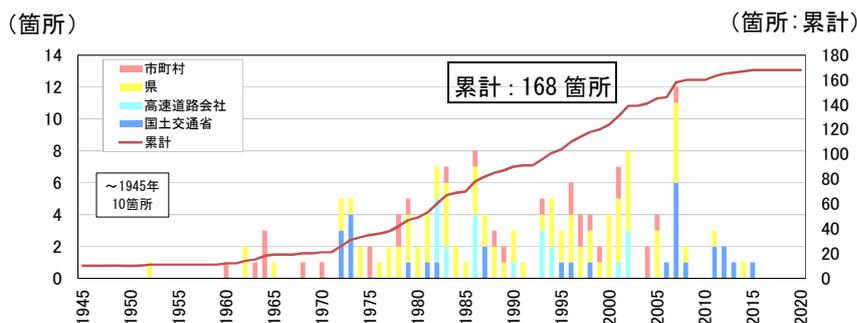
特に構造物数の多い橋梁でみると、建設後50年を経過した橋梁は、現在28%に対し、10年後には55%に増加するため、計画的・効率的なメンテナンスサイクルの構築が必要な状況です。



※この他、古い橋梁など記録が確認できない建設年度不明橋梁が約3,800橋ある。  
(出典) 道路局調べ (2020.3末時点)

図 1-1 建設年代別施設数 (橋梁)

図 1-2 建設後50年を経過した施設の割合 (橋梁)



※この他、古いトンネルなど記録が確認できない建設年度不明トンネルが1箇所ある。  
(出典) 道路局調べ (2020.3末時点)

図 1-3 建設年代別施設数 (トンネル)

図 1-4 建設後50年を経過した施設の割合 (トンネル)

## 2 秋田の道路メンテナンス概要について

### (1) 概要

- 秋田県道路メンテナンス会議では、県民・道路利用者に道路インフラの現状及び老朽化対策についてご理解頂くため、点検の実施状況や結果等を「秋田の道路メンテナンス概要」としてとりまとめています。
- 橋梁・トンネル・道路附属物等<sup>\*</sup>については、2014～2018年度における1巡目点検（以降、1巡目点検）が完了し、2019年度より2巡目の点検に着手したところです。
- 今回は、下記についてとりまとめました。
  - 2019年度（単年度）における点検結果
  - 2019年度点検実施施設における判定区分の遷移状況
  - 1巡目点検施設の修繕等措置の実施状況（2020年9月末時点）
- この調査結果は、点検結果を踏まえた今後の措置方針の立案等に活用します。

<p>道路の老朽化の現状はどうなっているのだろうか。</p> <p>→地域毎のデータ、経年的な変化等、様々な観点から県内の道路施設の老朽化の実態を把握することができます。</p>	<p>今後どのように措置していくのか。</p> <p>→各道路管理者は、自らの管理施設の老朽化の実態を踏まえ、今後の措置方針を立案していくこととなります。</p>
---	---

<sup>\*</sup>道路附属物等：シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識等

### (2) 橋梁・トンネル・道路附属物等の健全性の診断について

全ての道路管理者は、2013年の道路法改正等を受け、2014年7月より5年に1回の頻度で近接目視による点検を実施しています。

健全性の診断は、以下の4段階に区分します。

区分		状態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じている可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。



写真2-1 橋梁点検状況



写真2-2 トンネル点検状況

### 3 橋梁・トンネル・道路附属物等の点検結果

#### (1) 2019年度(単年度)の点検結果(全道路管理者)

全道路管理者の2019年度の点検実施率は、橋梁22%、トンネル23%、道路附属物等11%です。

判定区分の割合は、橋梁：I 18%、II 66%、III 16%、IV 0.1%、トンネル：I 0%、II 54%、III 46%、IV 0%、道路附属物等：I 18%、II 51%、III 31%、IV 0%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。(次頁以降も同様)

表3-1 2019年度の点検実施率(全道路管理者)

	管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019年度点検実施数	点検実施率※2
橋梁	12,070	12,019	2,611	22% (8%)
トンネル	169	166	39	23% (18%)
道路附属物等	491	474	51	11% (9%)

※1：2020年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

2020.3末時点

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。( )内は、2014年度における点検実施率。

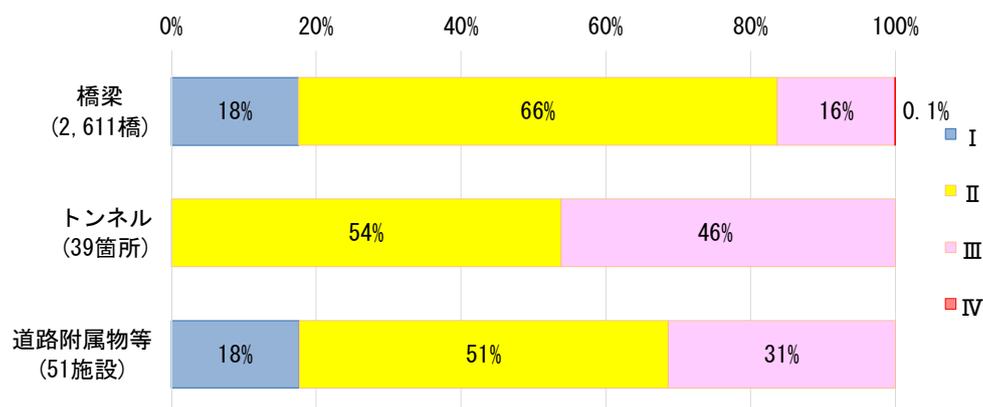


図3-1 2019年度の判定区分の割合(全道路管理者)

※( )内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-2 2019年度の判定区分の割合(全道路管理者)

	2019年度点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
橋梁	2,611	459	1,726	424	2
		18%	66%	16%	0.1%
トンネル	39	0	21	18	0
		0%	54%	46%	0%
道路附属物等	51	9	26	16	0
		18%	51%	31%	0%

2020.3末時点

## (2) 2019年度(単年度)の点検結果(管理者別)

### ①橋梁

橋梁の2019年度の点検実施率は、22%です。

判定区分の割合は、I 18%、II 66%、III 16%、IV 0.1%です。

※判定区分の割合は四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-3 2019年度の点検実施率(橋梁)

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019年度点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	701	689	192	28% (20%)
高速道路会社	372	369	66	18% (8%)
県	2,304	2,293	493	22% (5%)
市町村	8,693	8,668	1,860	21% (7%)
合計	12,070	12,019	2,611	22% (8%)

※1：2020年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

2020.3末時点

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。( )内は、2014年度における点検実施率。

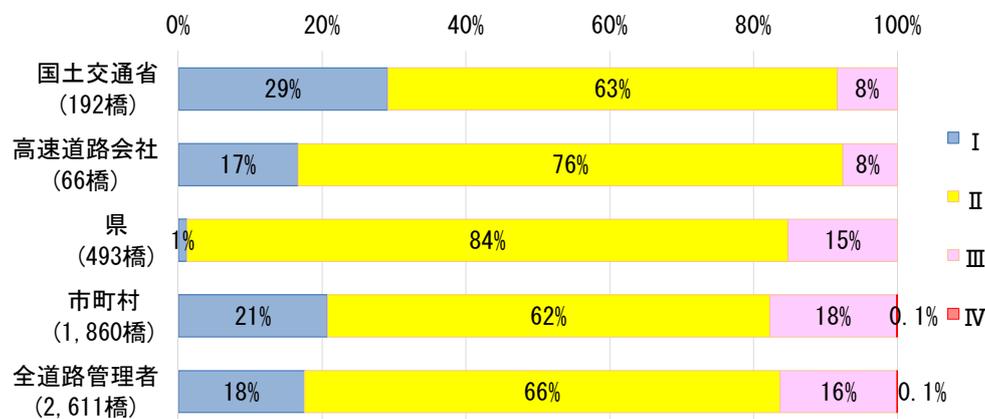


図3-2 2019年度の判定区分の割合(橋梁)

※( )内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-4 2019年度の判定区分の割合(橋梁)

管理者	2019年度点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		I	II	III	IV
国土交通省	192	56	120	16	0
		29%	63%	8%	0%
高速道路会社	66	11	50	5	0
		17%	76%	8%	0%
県	493	6	412	75	0
		1%	84%	15%	0%
市町村	1,860	386	1,144	328	2
		21%	62%	18%	0.1%
合計	2,611	459	1,726	424	2
		18%	66%	16%	0.1%

2020.3末時点

## ②トンネル

トンネルの2019年度の点検実施率は、23%です。

判定区分の割合は、Ⅰ 0%、Ⅱ 54%、Ⅲ 46%、Ⅳ 0%です。

表3-5 2019年度の点検実施率（トンネル）

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019年度点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	29	26	8	31% (25%)
高速道路会社	20	20	4	20% (15%)
県	84	84	20	24% (17%)
市町村	36	36	7	19% (17%)
合計	169	166	39	23% (18%)

※1：2020年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

2020.3末時点

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。（）内は、2014年度における点検実施率。

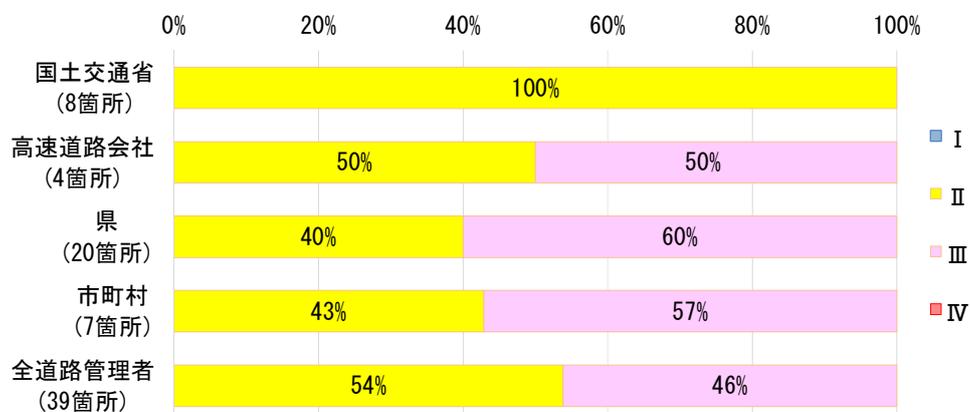


図3-3 2019年度の判定区分の割合（トンネル）

※（）内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

表3-6 2019年度の判定区分の割合（トンネル）

管理者	2019年度点検実施数	判定区分			
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	8	0	8	0	0
		0%	100%	0%	0%
高速道路会社	4	0	2	2	0
		0%	50%	50%	0%
県	20	0	8	12	0
		0%	40%	60%	0%
市町村	7	0	3	4	0
		0%	43%	57%	0%
合計	39	0	21	18	0
		0%	54%	46%	0%

2020.3末時点

### ③道路附属物等

道路附属物等の2019年度の点検実施率は、11%です。

判定区分の割合は、Ⅰ 18%、Ⅱ 51%、Ⅲ 31%、Ⅳ 0%です。

表3-7 2019年度の点検実施率（道路附属物等）

管理者	管理施設数	うち点検対象施設数※1	2019年度点検実施数	点検実施率※2
国土交通省	182	167	0	0% (0%)
高速道路会社	104	104	17	16% (16%)
県	160	158	30	19% (15%)
市町村	45	45	4	9% (9%)
合計	491	474	51	11% (9%)

※1：2020年3月時点での施設数のうち、供用後5年以内などを除いた施設数の合計。

2020.3末時点

※2：点検対象施設数を分母とした点検実施数の割合。( )内は、2014年度における点検実施率。



図3-4 2019年度の判定区分の割合（道路附属物等）

※ ( )内は、2019年度に点検を実施した施設数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100にならない場合がある。

表3-8 2019年度の判定区分の割合（道路附属物等）

管理者	2019年度点検実施数	判定区分			
		上段：実数、下段：割合			
		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
国土交通省	0	0	0	0	0
		0%	0%	0%	0%
高速道路会社	17	7	10	0	0
		41%	59%	0%	0%
県	30	0	14	16	0
		0%	47%	53%	0%
市町村	4	2	2	0	0
		50%	50%	0%	0%
合計	51	9	26	16	0
		18%	51%	31%	0%

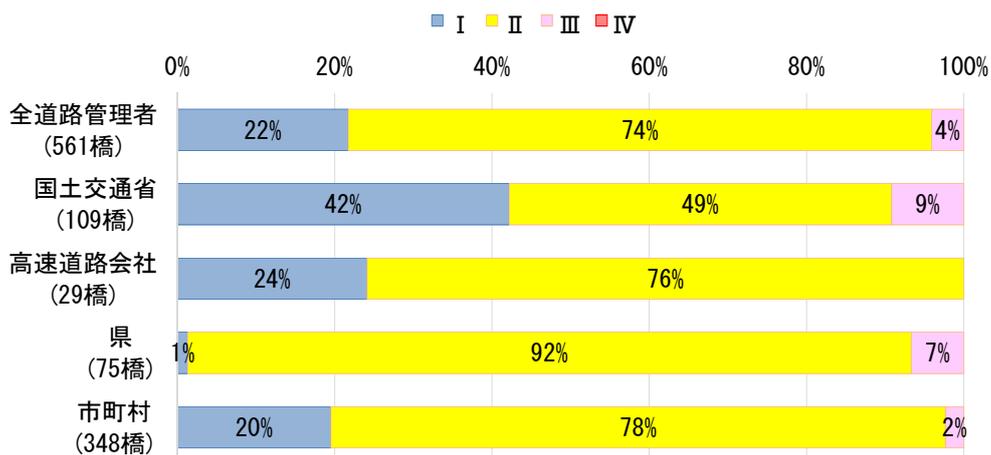
2020.3末時点

### (3) 2019年度点検実施施設における判定区分の遷移状況

#### ① 橋梁

1巡目の2014年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者で4%です。

建設年数が31年以上となる橋梁では、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。



※ ( ) 内は、1巡目（2014年度）の結果が判定区分ⅠまたはⅡとなった橋梁数の内、修繕等の措置を講じないまま2019年度に点検を実施した橋梁数の合計。

※四捨五入の関係で合計値が100%にならない場合がある。

図3-5 管理者別の判定区分の遷移状況

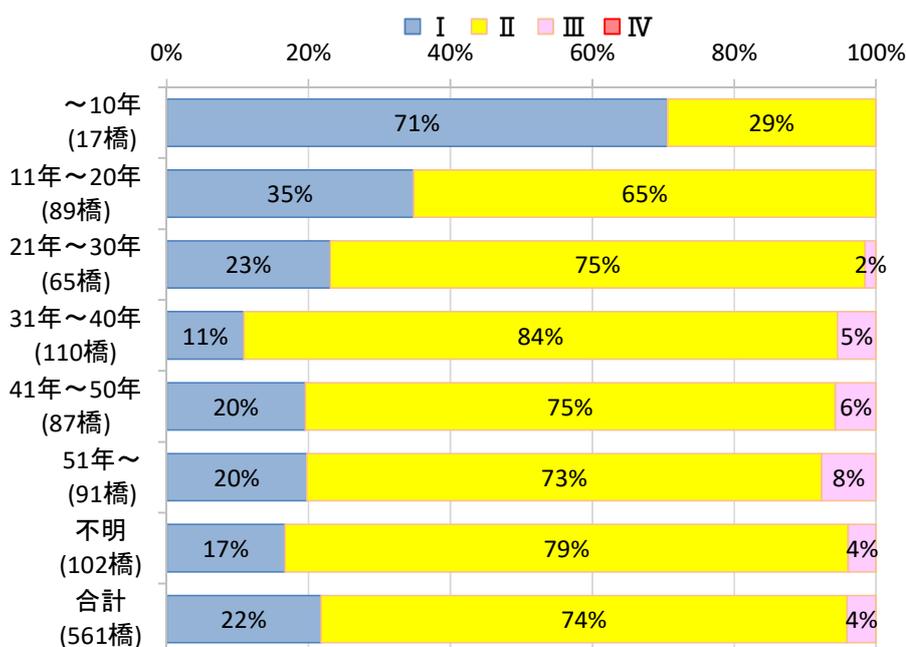


図3-6 建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

## ②トンネル

1巡目の2014年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者で25%です。

建設年数が51年以上となるトンネルでは、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合が高くなっています。

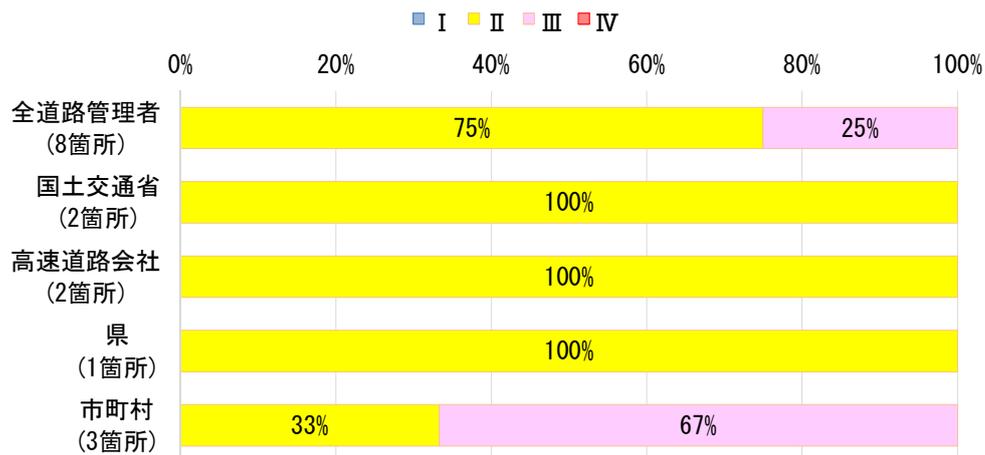


図3-7 管理者別の判定区分の遷移状況

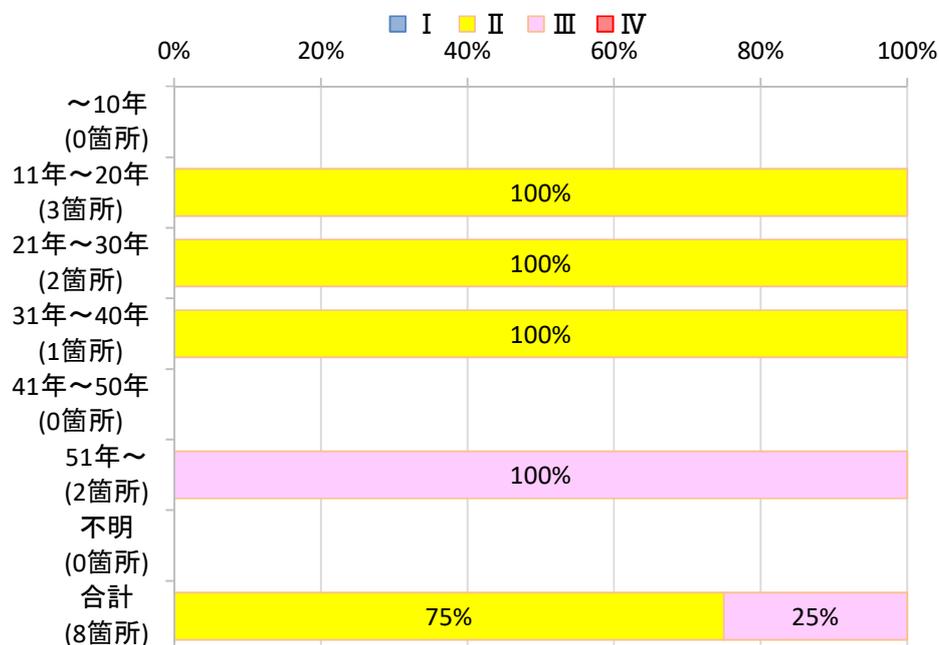


図3-8 建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

### ③道路附属物等

1 巡目の2014年度の点検で健全又は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態（判定区分Ⅰ・Ⅱ）に診断された施設のうち、修繕等の措置を講じないまま、5年後の2019年度点検において、早期又は緊急に措置を講ずべき状態（判定区分Ⅲ・Ⅳ）へ遷移した割合は、全道路管理者ではありません。

道路附属物等では、判定区分Ⅰ・Ⅱから判定区分Ⅲ・Ⅳに遷移した割合と建設年数の間に明らかな関係性は見られません。

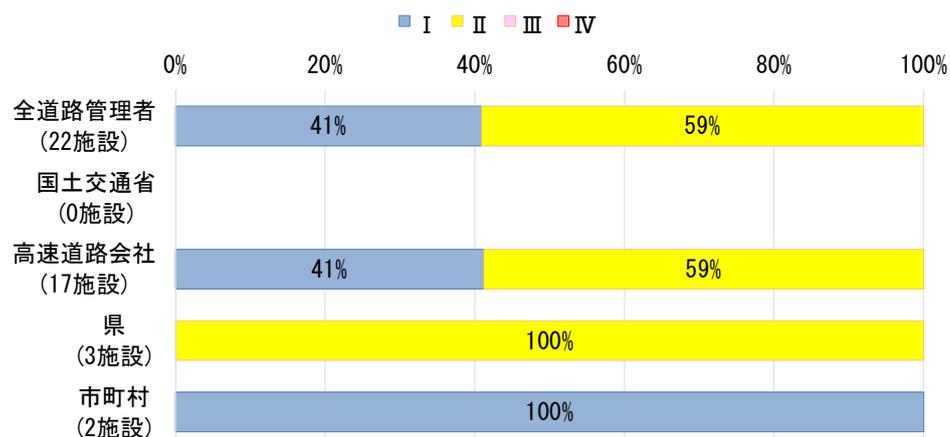


図3-9 管理者別の判定区分の遷移状況

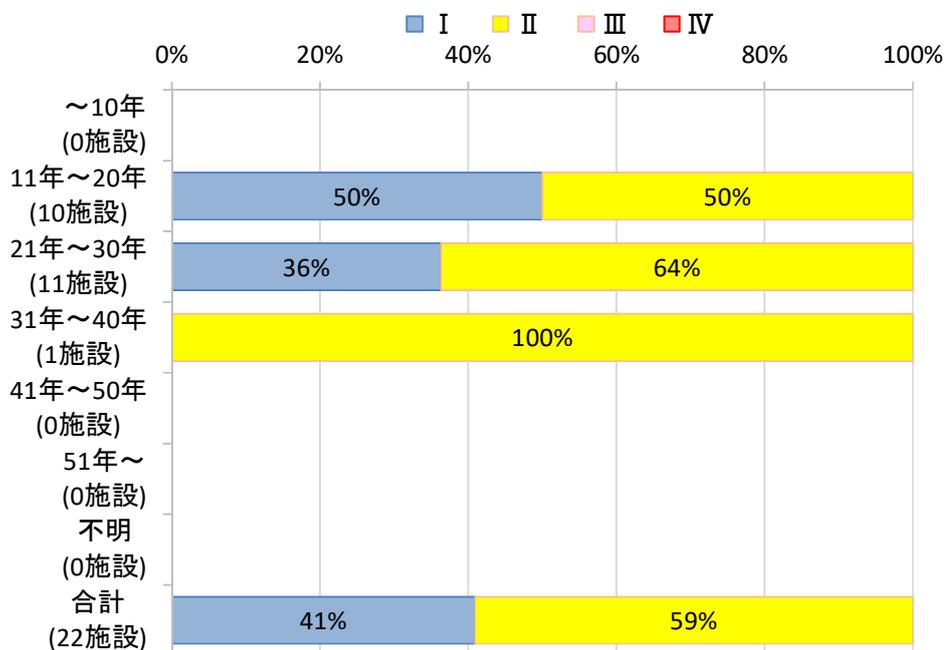


図3-10 建設年数別の遷移状況（全道路管理者）

#### 4 1 巡目点検施設の修繕等措置の実施状況（2020年9月末時点）

##### （1）判定区分Ⅲ・Ⅳの施設の修繕等措置の実施状況

各施設の修繕等措置については、定期点検の判定区分に応じて対策等を行います。

##### ○判定区分Ⅳ

「構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態」と診断された施設は、損傷発見後、緊急に措置を講ずることとしています。

##### ○判定区分Ⅲ

「構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態」と診断された施設は、次回点検まで（5年以内）に措置を講ずることとしています。

##### 1）判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況（2020年9月末時点）

1 巡目点検で判定区分Ⅲ、Ⅳと診断された施設の措置着手率（2020年9月末時点）は、橋梁 38%、トンネル 73%、道路附属物等 67%となっています。

表 4 - 1 判定区分Ⅲ,Ⅳの修繕等措置の実施状況（全道路管理者）

	措置が必要な 施設数 A	措置に着手済 の施設数 B (B/A)	措置に着工済 の施設数 C (C/A)	措置完了済 の施設数 D (D/A)
橋梁	1,349	518 (38%)	346 (26%)	259 (19%)
トンネル	67	49 (73%)	36 (54%)	28 (42%)
道路附属物等	108	72 (67%)	43 (40%)	24 (22%)

2020.9 末時点

判定区分Ⅲ,Ⅳの修繕等措置  
(2014~2018)

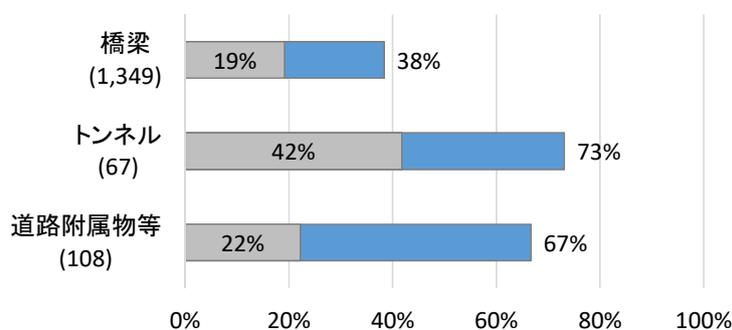


図 4 - 1 判定区分Ⅲ,Ⅳの修繕等措置（2014年度~2018年度）

**措置着手率** : 措置(設計を含む)に着手した割合 (B/A)  
**措置完了率** : 措置が完了した割合 (D/A)

2020.9 末時点

①橋梁

○判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置※<sup>1</sup>の実施状況

1 巡目点検で判定区分Ⅲ又はⅣと診断された橋梁で、2020年9月末までに修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省 92%、高速道路会社 50%、地方公共団体 35%です。

表4-2 橋梁の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

	措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着工済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(D/A)	
						0%	100%	0%	100%
国土交通省	75	69 (92%)	59 (79%)	50 (67%)	2014	100%	100%		
					2015	89%	100%		
					2016	58%	100%		
					2017	29%	86%		
					2018	25%	67%		
高速道路会社	16	8 (50%)	3 (19%)	3 (19%)	2014	0%			
					2015	50%	100%		
					2016	0%	100%		
					2017	40%	60%		
					2018	0%	25%		
地方公共団体計	1,258	441 (35%)	284 (23%)	206 (16%)	2014	33%	59%		
					2015	19%	40%		
					2016	12%	27%		
					2017	4%	16%		
					2018	7%	25%		
県	238	140 (59%)	90 (38%)	45 (19%)	2014	35%	100%		
					2015	27%	67%		
					2016	21%	57%		
					2017	0%	26%		
					2018	2%	32%		
市町村	1,020	301 (30%)	194 (19%)	161 (16%)	2014	33%	50%		
					2015	18%	35%		
					2016	9%	19%		
					2017	5%	15%		
					2018	10%	21%		
合計	1,349	518 (38%)	346 (26%)	259 (19%)		19%	38%		

2020.9 末時点

**措置着手率** : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)  
**措置完了率** : 措置が完了した割合(D/A)

※1: 監視を除く

※2: 1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数

## ②トンネル

### ○判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置※1の実施状況

1 巡目点検で判定区分Ⅲ又はⅣと診断されたトンネルで、2020年9月末までに修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省 100%、高速道路会社 100%、地方公共団体 59%です。

表4-3 トンネルの判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

	措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着工済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A)		措置完了率(D/A)	
						0%	100%	0%	100%
国土交通省	19	19 (100%)	11 (58%)	9 (47%)	2014	100%	100%	0%	100%
					2015	0%	100%	0%	100%
					2016	100%	100%	0%	100%
					2017	27%	100%	0%	100%
					2018	0%	100%	0%	100%
高速道路会社	4	4 (100%)	3 (75%)	0 (0%)	2014	0%	100%	0%	100%
					2015	0%	100%	0%	100%
					2016	0%	100%	0%	100%
					2017	0%	100%	0%	100%
					2018	0%	100%	0%	100%
地方公共団体計	44	26 (59%)	22 (50%)	19 (43%)	2014	100%	100%	0%	100%
					2015	12%	41%	0%	100%
					2016	40%	80%	0%	100%
					2017	0%	100%	0%	100%
					2018	0%	100%	0%	100%
県	34	21 (62%)	17 (50%)	15 (44%)	2014	100%	100%	0%	100%
					2015	14%	50%	0%	100%
					2016	33%	67%	0%	100%
					2017	0%	100%	0%	100%
					2018	0%	100%	0%	100%
市町村	10	5 (50%)	5 (50%)	4 (40%)	2014	100%	100%	0%	100%
					2015	0%	100%	0%	100%
					2016	50%	100%	0%	100%
					2017	0%	100%	0%	100%
					2018	0%	100%	0%	100%
合計	67	49 (73%)	36 (54%)	28 (42%)		42%	73%		

措置着手率 : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

2020.9 末時点

措置完了率 : 措置が完了した割合(D/A)

※1: 監視を除く

※2: 1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数

### ③道路附属物等

#### ○判定区分Ⅲ、Ⅳの修繕等措置※<sup>1</sup>の実施状況

1 巡目点検で判定区分Ⅲ又はⅣと診断された道路附属物等で、2020年9月末までに修繕等の措置に着手した割合は、国土交通省 90%、高速道路会社 50%、地方公共団体 65%です。

表4-4 道路附属物等の判定区分Ⅲ・Ⅳの修繕等措置の実施状況

	措置が必要な施設数 A	措置に着手済の施設数 B (B/A)	措置に着工済の施設数 C (C/A)	措置完了済の施設数 D (D/A)	点検実施年度	措置着手率(B/A) 措置完了率(D/A)	
						0% 20% 40% 60% 80% 100%	
国土交通省	10	9 (90%)	5 (50%)	3 (30%)	2014	0%	
					2015	100%	100%
					2016	33%	100%
					2017	0%	100%
					2018	0%	50%
高速道路会社	2	1 (50%)	1 (50%)	1 (50%)	2014	0%	
					2015	0%	
					2016	100%	100%
					2017	0%	
					2018	0%	
地方公共団体計	96	62 (65%)	37 (39%)	20 (21%)	2014	14%	100%
					2015	23%	62%
					2016	25%	38%
					2017	14%	43%
					2018	0%	
県	83	58 (70%)	33 (40%)	16 (19%)	2014	5%	100%
					2015	24%	67%
					2016	25%	42%
					2017	17%	50%
					2018	0%	
市町村	13	4 (31%)	4 (31%)	4 (31%)	2014	100%	100%
					2015	17%	17%
					2016	25%	25%
					2017	0%	
					2018	0%	
合計	108	72 (67%)	43 (40%)	24 (22%)		22%	67%

2020.9 末時点

**措置着手率** : 措置(設計を含む)に着手した割合(B/A)

**措置完了率** : 措置が完了した割合(D/A)

※1: 監視を除く

※2: 1巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除く施設数

## (2) 判定区分Ⅳの施設の措置状況

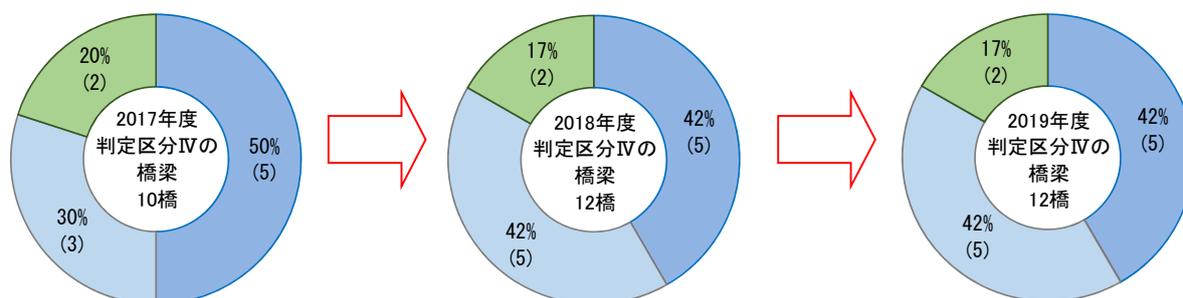
2019年度末時点で判定区分Ⅳと診断された橋梁は、12橋あり、5橋は措置済みの状況です。またトンネル及び道路附属物等は、2019年度末時点で判定区分Ⅳと診断された施設はありませんでした。

老朽化した道路インフラの適正な維持管理を行っていくうえでも、ライフサイクルコストや地域の状況を踏まえて、必要に応じて施設の集約化・撤去などにより合理化を図っていく必要があります。

※Ⅳ判定の施設リストは巻末資料(4)を参照

### ○判定区分Ⅳの橋梁の措置状況(予定含む)

■ 修繕・架替 ■ 機能転換 ■ 対応未定 ■ 撤去・廃止中(予定含む) ■ 撤去・廃止済等



### (3) 修繕等措置の取り組み事例

#### ① 判定区分Ⅱの修繕事例（橋梁）

施設名	たからかぜばし 宝風橋
管理者	国土交通省 秋田河川国道事務所
路線名	国道46号
位置	秋田県仙北市
建設年	1974年（昭和49年）
主な損傷	支承のゆるみ・脱落、 沈下・移動・傾斜



写真4-1 【全景】宝風橋



写真4-2 【損傷】支承のゆるみ・脱落

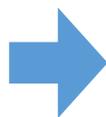


写真4-3 【対策】支承交換

#### ② 判定区分Ⅲの修繕事例（橋梁）

施設名	たしろおおはしそくどうきょう 田代大橋側道橋
管理者	国土交通省 能代河川国道事務所
路線名	国道7号
位置	秋田県大館市
建設年	1978年（昭和53年）
主な損傷	主桁の腐食、変形・欠損



写真4-4 【全景】田代大橋側道橋



写真4-5 【損傷】  
主桁腐食、変形・欠損

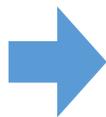


写真4-6 【対策】  
主桁当て板補修・再塗装

施設名：<sup>ひやまがわぼし</sup> 桧山川橋  
 管理者：能代市  
 路線名：市道東能代道地線  
 位置：秋田県能代市  
 建設年：1962年（昭和37年）  
 主な損傷：床版ひびわれ、主桁腐食、  
 支承腐食



写真4-7 【全景】桧山川橋



写真4-8 【損傷】主桁：腐食

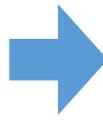


写真4-9 【対策】主桁：再塗装

施設名：<sup>まつくらぼし</sup> 松倉橋  
 管理者：秋田県  
 路線名：主要地方道四ツ屋神岡線  
 位置：秋田県大仙市  
 建設年：1976年（昭和51年）  
 主な損傷：床版のひびわれ、主桁の腐食、  
 橋面ひびわれ



写真4-10 【全景】松倉橋



写真4-11 【損傷】床版ひびわれ

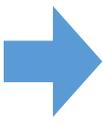


写真4-12 【対策】  
IPH工法による補修

施設名 : 吉沢橋  
よしがわばし  
 管理者 : 秋田県  
 路線名 : 国道108号  
 位置 : 秋田県由利本荘市  
 建設年 : 1972年(昭和47年)  
 主な損傷 : 主桁、横桁、支承部の  
 腐食、変形・欠損



写真4-13 【全景】吉沢橋



写真4-14 【損傷】  
 主桁、支承部の腐食、変形・欠損状況



写真4-15 【対策】  
 支承部の補修

### ③判定区分Ⅲの修繕事例(ロックシェッド)

施設名 : 山内ロックシェッド  
やまうち  
 管理者 : 秋田県  
 路線名 : 国道107号  
 位置 : 秋田県由利本荘市  
 建設年 : 1991年(平成3年)  
 主な損傷 : 腐食



写真4-16 【全景】山内ロックシェッド



写真4-17 【損傷】  
 支柱基部腐食状況



写真4-18 【対策】  
 腐食部 ボルト交換、再塗装

④判定区分Ⅲの修繕事例（スノーシェルター）

施設名	七曲峠 <small>ななまがりとうげ</small> スノーシェルター
管理者	秋田県
路線名	一般県道鴻屋禁線
位置	秋田県雄勝郡羽後町
建設年	1983年（昭和58年）
主な損傷	鋼部材全体の腐食、 受台コンクリートのひびわれ



写真4-19 【全景】  
七曲峠スノーシェルター

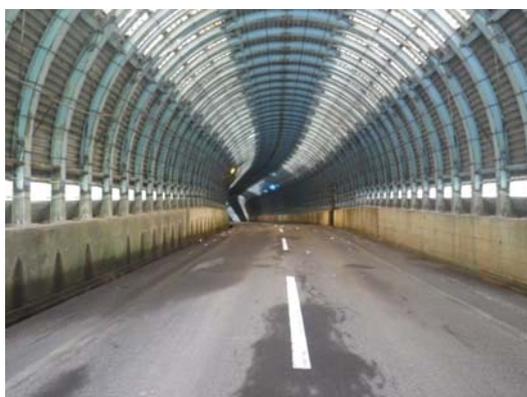


写真4-20 【損傷】  
鋼部材全体の腐食

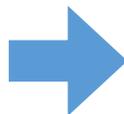


写真4-21 【対策】再塗装

#### (4) 橋梁の損傷傾向

##### 1) 地勢

秋田県は内陸の豪雪地帯を始め、日本海側の地吹雪など県内全域が積雪寒冷地域として知られております。

そのため、冬期は厳しい気象条件となっており、全域にわたって凍結抑制剤が散布されている実態があります。

また、日本海側は冬期の厳しい季節風により、塩害の影響が激しい地域が存在します。

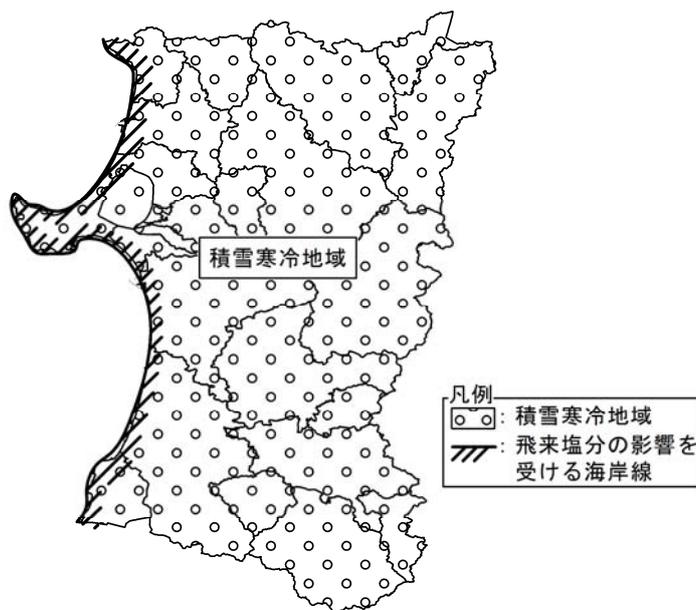


図4-2 秋田県の地理的特徴

##### 【凍結抑制剤による損傷事例】



写真4-22 主桁端部の腐食

##### 【塩害による損傷事例】



写真4-23 主桁の全般的な腐食

##### 2) 長寿命化に向けて

橋梁の損傷の多くは支承や橋桁端部に集中しており、伸縮装置からの凍結抑制剤の塩分を含んだ漏水が原因と考えられます。また、床版においても、路面水の浸透が劣化を早める原因と考えられます。このため、伸縮装置や橋面の止水・防水・排水対策等を適切に行い、長寿命化を図ることが重要となっています。

### 3) 凍結抑制剤の影響

凍結抑制剤の散布量の影響について分析した結果、散布量が少ない橋梁に比べ、散布量が多い橋梁では健全度が低い傾向です。

部材別では、主にその他の部材（伸縮装置、地覆、高欄等）への影響が見受けられます。

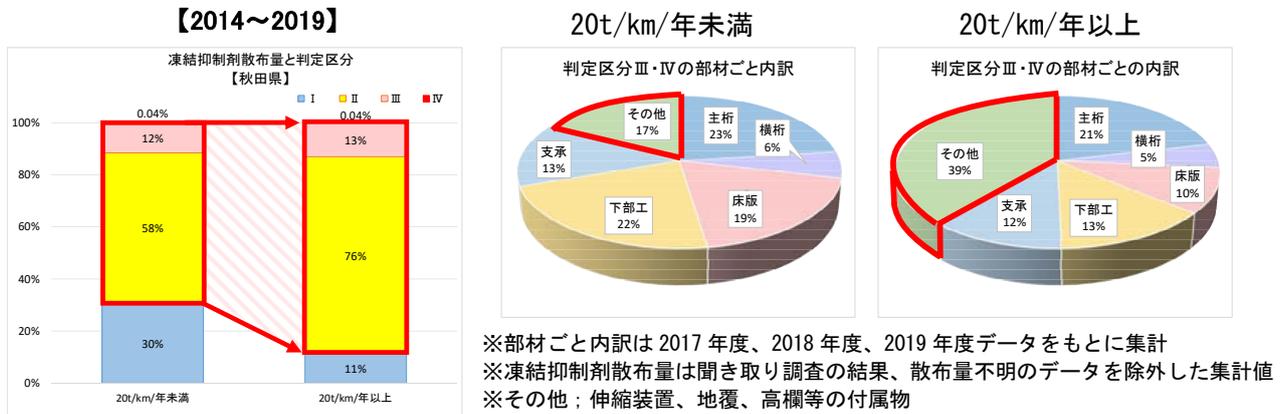


図 4-3 凍結抑制剤散布量別の橋梁判定区分及び判定区分 III・IV の部材ごと内訳

### 4) 塩害の影響

飛来塩分の影響について分析した結果、内陸部に位置する橋梁に比べ、海岸線に近い橋梁の健全度が低い傾向です。

部材別では、上部工部材に影響が見受けられます。

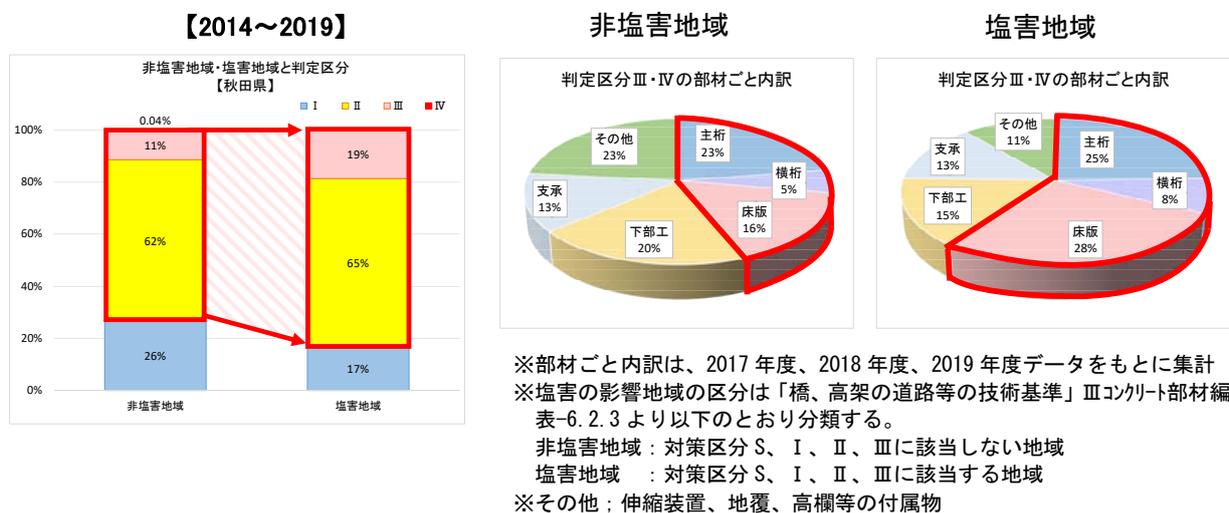


図 4-4 非塩害地域・塩害地域別の橋梁判定区分及び判定区分 III・IV の部材ごと内訳

### (5) 個別施設計画の策定状況

各道路管理者は、橋梁・トンネル・道路附属物等の定期点検の結果に基づき長寿命化修繕計画（個別施設計画）※を策定しています。

長寿命化修繕計画（個別施設計画）に基づき、メンテナンスサイクルを予防保全型へ転換することにより施設の長寿命化を図るものです。

また、長寿命化修繕計画（個別施設計画）は、計画的に対策を行うことにより、ライフサイクルコストの縮減や維持管理費の平準化を目指します。

さらに、計画的な定期点検を行い、新たに措置が必要な施設についても確実に対策を実施していくため、長寿命化修繕計画（個別施設計画）はその都度更新します。

2019年度末時点における県内の市町村の長寿命化修繕計画（個別施設計画）の策定状況は、橋梁 88%、トンネル 50%、道路附属物等 40%となっています。市町村については、2020年度までに策定することで進められています。

※維持管理・更新等にかかるトータルコストの縮減・平準化を図る上で点検・診断等の結果を踏まえた個別施設毎の具体的な対応方針を定めた計画

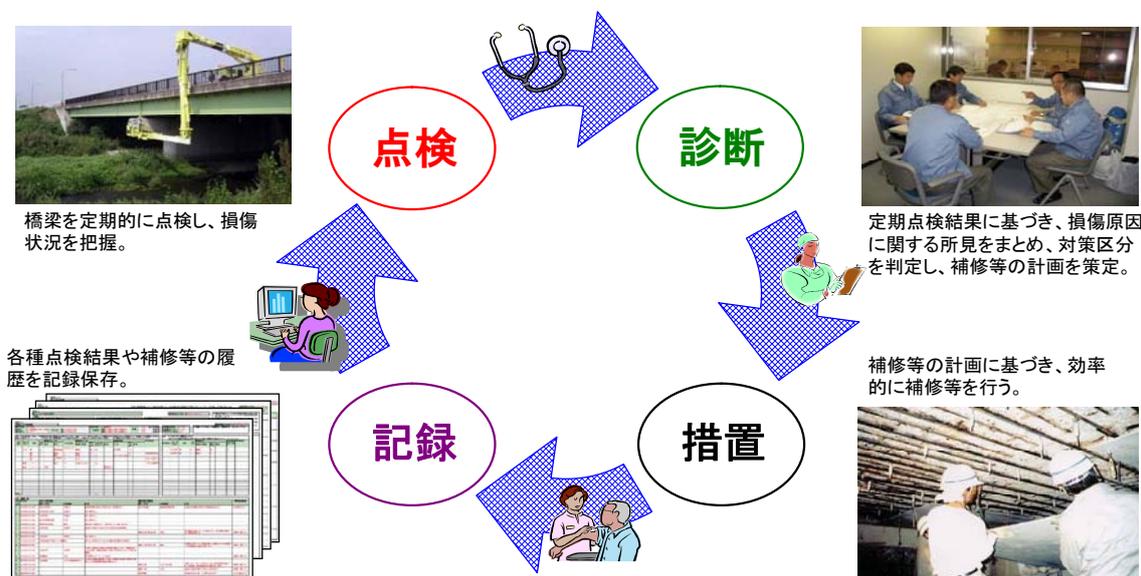
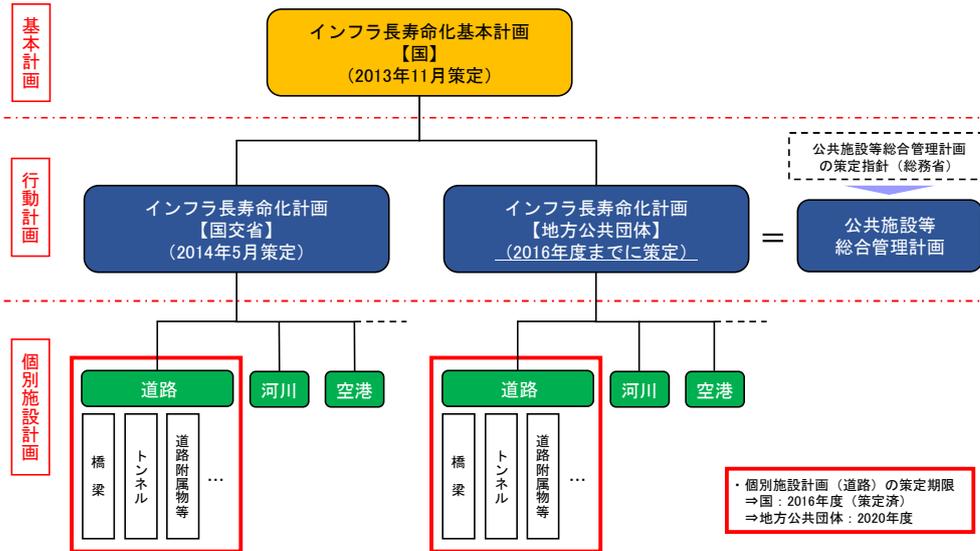


図 4-5 橋梁保全のマネジメント図

## ○ インフラ長寿命化計画の体系



## ○ 個別施設設計画の策定状況 (2019年度末時点)

表4-5 個別施設設計画の策定状況

〈橋梁〉				〈トンネル〉				〈道路附属物等〉			
管理者	策定率	管理団体数	計画策定団体数	管理者	策定率	管理団体数	計画策定団体数	管理者	策定率	管理団体数	計画策定団体数
国土交通省	100%	1	1	国土交通省	100%	1	1	国土交通省	100%	1	1
高速道路会社	100%	1	1	高速道路会社	100%	1	1	高速道路会社	100%	1	1
県	100%	1	1	県	100%	1	1	県	100%	1	1
市町村	88%	25	22	市町村	50%	10	5	市町村	40%	10	4

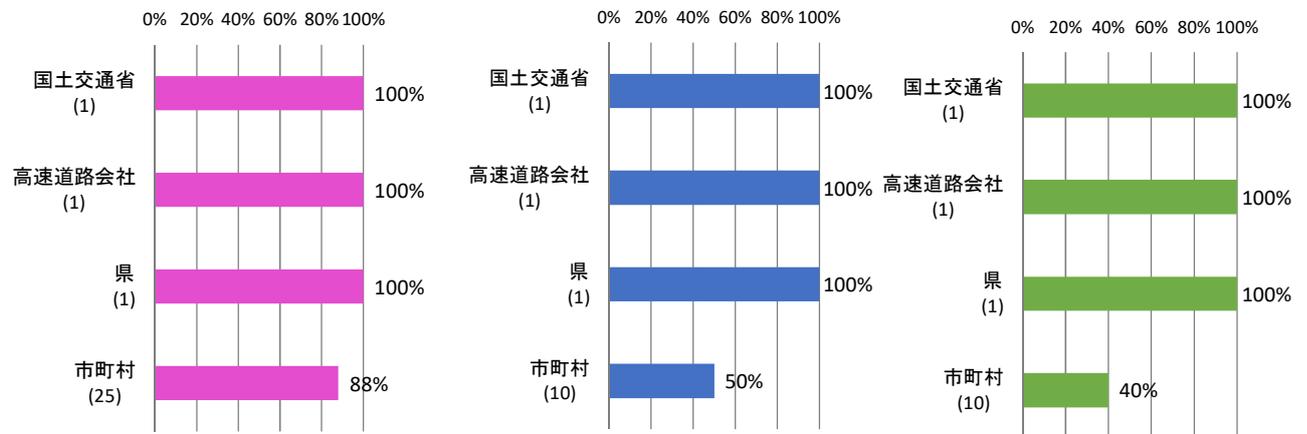


図4-6 個別施設設計画の策定率

※()は団体数

※割合は個別施設設計画策定対象の施設を管理する団体数により算出

※道路附属物等は横断歩道橋、門型標識等、シェッド、大型カルバートであり、いずれかの施設の個別施設設計画が策定されていれば策定済みとしている

## 5 道路メンテナンス会議の取り組み

秋田県道路メンテナンス会議は、インフラの老朽化対策が社会的な課題となり、橋梁・トンネル等の定期的な点検がスタートした2014年度に、技術力の向上、インフラの長寿命化の推進、さらには道路インフラの維持管理についての情報共有や課題解決への連携と道路の管理を効果的に行っていくことが急務であるとして、県内の道路管理者が一体的連携を図るための組織として設置されました。

特に市町村では、道路構造物の維持管理についての技術ノウハウや土木技術系職員が不足しているなど課題がある中で、道路インフラを適正に維持管理していくことが重要であるため、秋田県道路メンテナンス会議では、各種講習会の開催や県内メンテナンス支援団を派遣するなど市町村の技術的支援に重点をおいた活動を展開しています。



写真5-1 小規模橋梁点検技術講習会



写真5-2 新人市町村等職員技術講習会



写真5-3 点検技術支援活用講習会



写真5-4 道の駅パネル展状況

## ○これまでの取り組み

表5-1 取り組み経緯

年度	月	会議開催	研修・講習会	広報活動
2014 (H26)	4~6	5/27 道路メンテナンス会議設立 第1回メンテナンス会議 市町村橋梁等長寿命化 連絡協議会設立(H25.6)		6月~7月 パネル展示(各道の駅・秋田県庁内)
	7~9	9/4 第2回メンテナンス会議	7/28 市町村職員の参加による橋梁点検の現地研修会	
	10~12			10/25県民参加の『橋の老化対策見学会』
	1~3	1/16 第3回メンテナンス会議 3/20 二道橋連絡会議設立		
2015 (H27)	4~6	6/4 第1回メンテナンス会議	6/15 道路橋の補修・予防保全技術講習会 (市町村橋梁等長寿命化連絡協議会) 6/29~7/1 道路施設点検技術(現地)講習会 6/30 道路施設点検技術(現地)講習会	
	7~9	8/27 第2回メンテナンス会議	9/11 道路施設点検「包括発注」研修会	
	10~12		10/1 道路施設点検技術講習会(トンネル編) 11/6 道路施設点検技術講習会(のり面・土工構造物編) 11/10 小規模橋梁点検技術講習会(県・市町村職員)	12月~2月 パネル展示(各道の駅・秋田県庁内)
	1~3	1/15 第3回メンテナンス会議		
	4~6	6/28 第1回メンテナンス会議	5/26・27 メンテナンス研修	
2016 (H28)	7~9	8/5 二道橋連絡会議	8/25 小規模橋梁点検技術講習会 9/1・2・7 小規模橋梁点検技術講習会 9/16 橋梁床版維持補修に関する特別講義講習会	9/29将来の土木を担う高校生を対象とした 現場見学会(秋田県土木系高校生35名)
	10~12		11/28 自治体管理の橋を職員自らが点検します(秋田市)	10/21 湯沢河国 橋梁点検自習(大曲工業高校) 11/28 自治体管理の橋を職員自らが点検(秋田市) 12月~2月 パネル展示(各道の駅) 3/9新聞掲載(魁新報) 道路も健康診断で安心・長寿
	1~3	3/8 道路鉄道連絡会議設立 第2回メンテナンス会議		
	4~6			
	7~9	9/8 第1回メンテナンス会議 二道橋連絡会議		
2017 (H29)	10~12	12/15 第2回メンテナンス会議	10/3 既設橋の耐震対策講習会(道路メンテナンス会議) 10/25 小規模橋梁点検技術講習会(県・市町村職員)	12月~2月 パネル展示(各道の駅)
	1~3	2/8 第3回メンテナンス会議 道路鉄道連絡会議		
	4~6			
2018 (H30)	7~9	7/30 メンテナンス会議	9/18~10/26 直轄点検講習会 9/25~9/27 小規模橋梁点検技術講習会	8月~老化対策ポスター(各道の駅)
	10~12		10/17 既設橋の耐震対策講習会 11/19 修繕代行事業の現地見学会 11/20 メンテナンス支援団(湯沢市)	9/28 県版メンテナンス年報公表
	1~3	2/7 二道橋連絡会議 道路鉄道連絡会議		
	4~6	4/18 第1回道路メンテナンス会議 6/12 事務局会議		
	7~9	8/1 第2回道路メンテナンス会議	9/2・6・11 小規模橋梁点検技術講習会 9/17 大規模修繕工事見学会 10/15~11/8 直轄橋梁点検講習会 (三種町、にかほ市、仙北市) 10/31 点検支援技術活用講習会(にかほ市) 12/2 県内道路メンテナンス支援団(美郷町) 12/3 新入市町村職員講習会	10/7 県版道路メンテナンス概要公表 11月~ 老化対策ポスター展示 (各道の駅) 11月~7月 メンテナンス概要パネル 展示(各道の駅巡回)
2019 (R1)	10~12			
	1~3	2/13 第3回道路メンテナンス会議 2/13 道路鉄道連絡会議		

## 6 資料編（東北と県全体の比較）

(1) 建設年度別施設数・建設後 50 年経過した割合 .....	26
(2) 道路管理者別施設数内訳(橋梁・トンネル・道路附属物等) .....	27
(3) 2019 年度（単年度）道路管理者別点検結果内訳 .....	28
(4) 2019 年度点検実施施設における道路管理者別判定区分の遷移状況 .....	29
(5) 2019 年度点検実施施設における建設年数別の遷移状況 .....	30
(6) 部材ごとの点検結果内訳（橋梁） .....	31
(7) 判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳（橋梁） .....	33

(1) 建設年度別施設数・建設後50年経過した割合

■ 橋梁

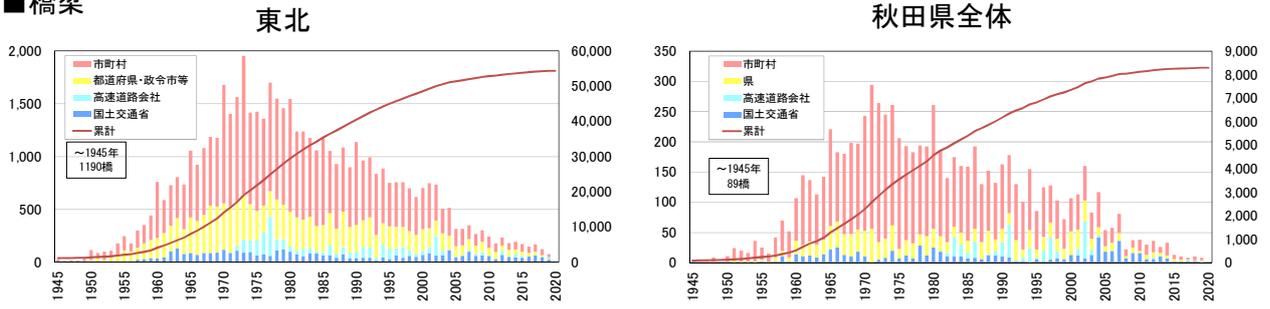
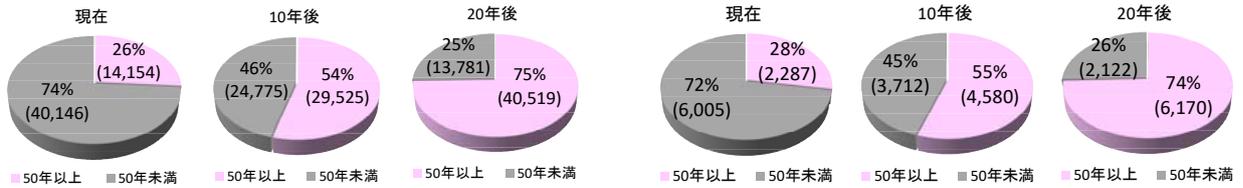


図6-1 建設年度別施設数



■ トンネル

図6-2 建設後50年経過した割合

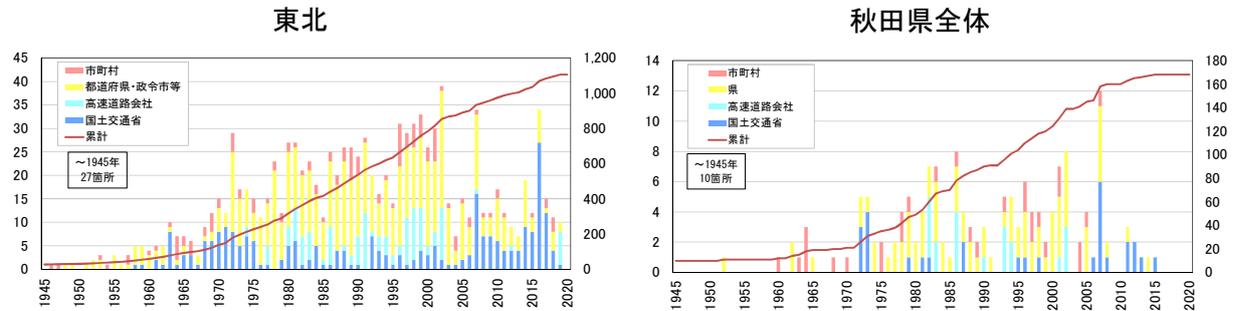


図6-3 建設年度別施設数

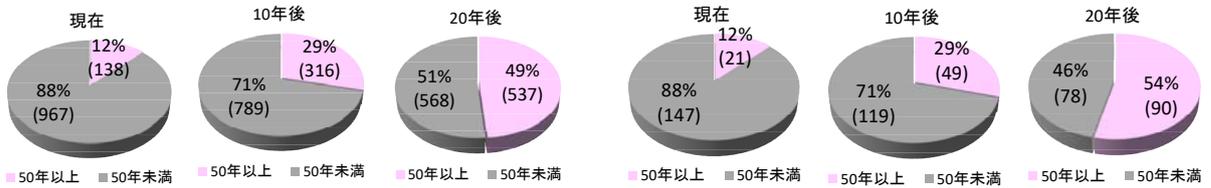


図6-4 建設後50年経過した割合

■ 道路附属物等

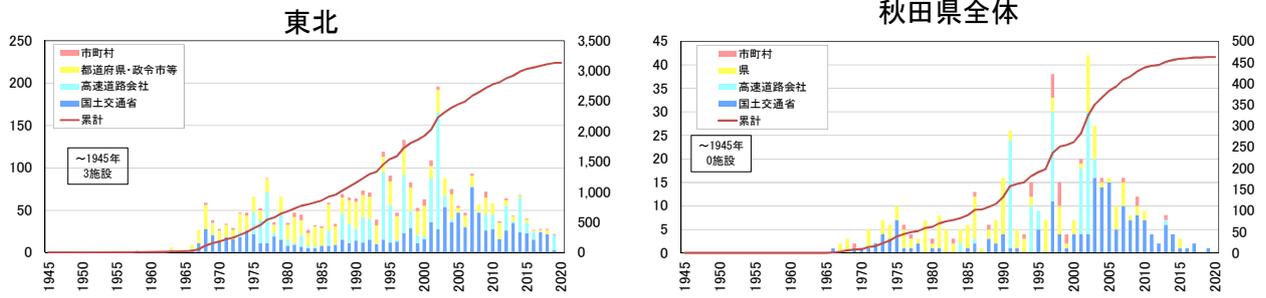


図6-5 建設年度別施設数

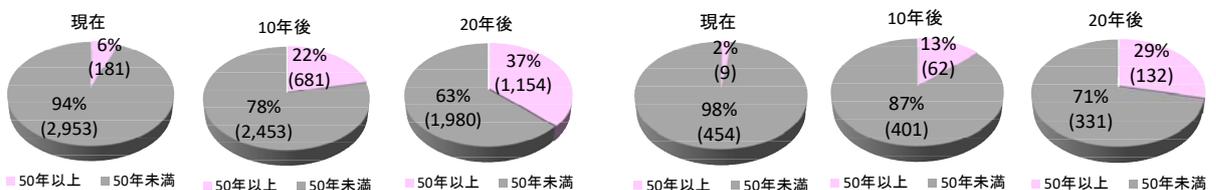


図6-6 建設後50年経過した割合

(2) 道路管理者別施設数内訳(橋梁・トンネル・道路附属物等)

■橋梁

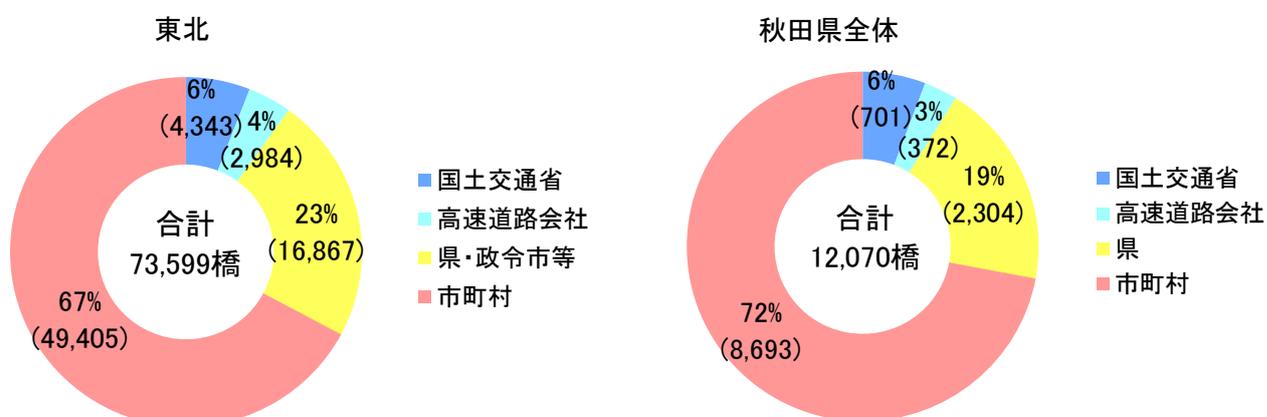


図6-7 道路管理者別施設数内訳

■トンネル

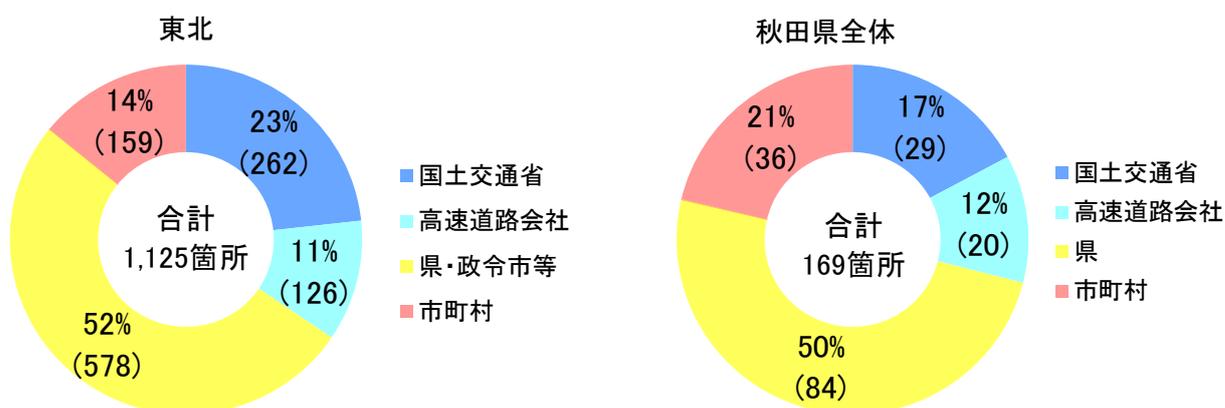


図6-8 道路管理者別施設数内訳

■道路附属物等

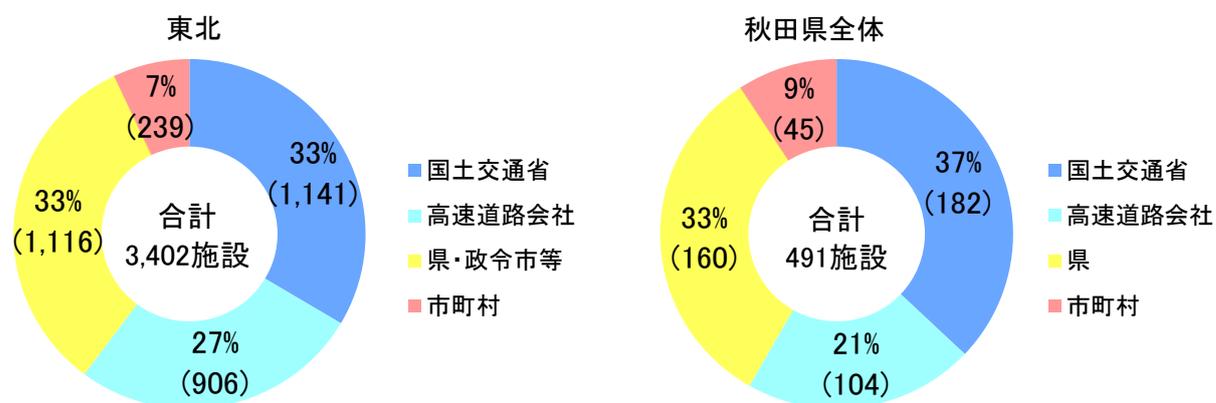


図6-9 道路管理者別施設数内訳

(3) 2019年度(単年度)道路管理者別点検結果内訳

■ 橋梁

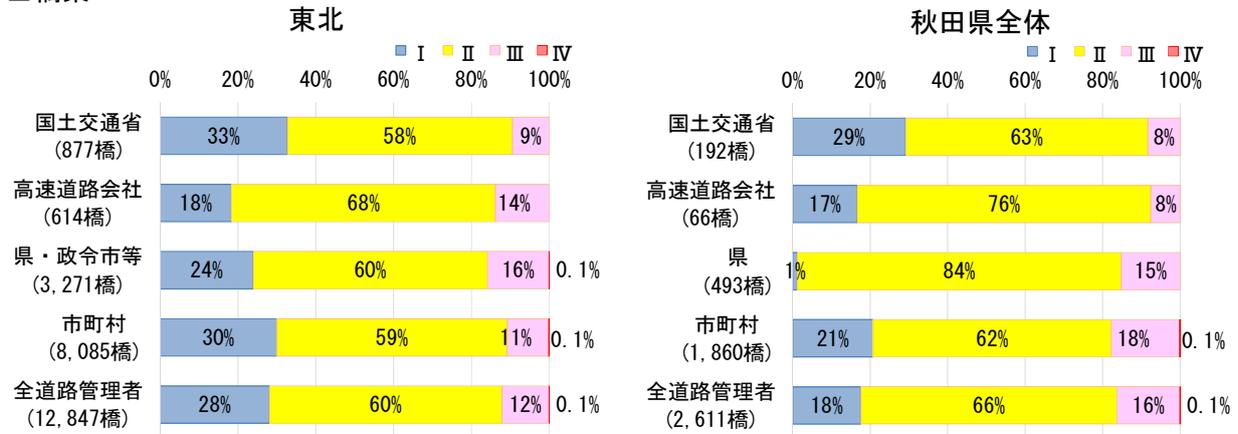


図6-10 2019年度(単年度)道路管理者別点検結果内訳

■ トンネル

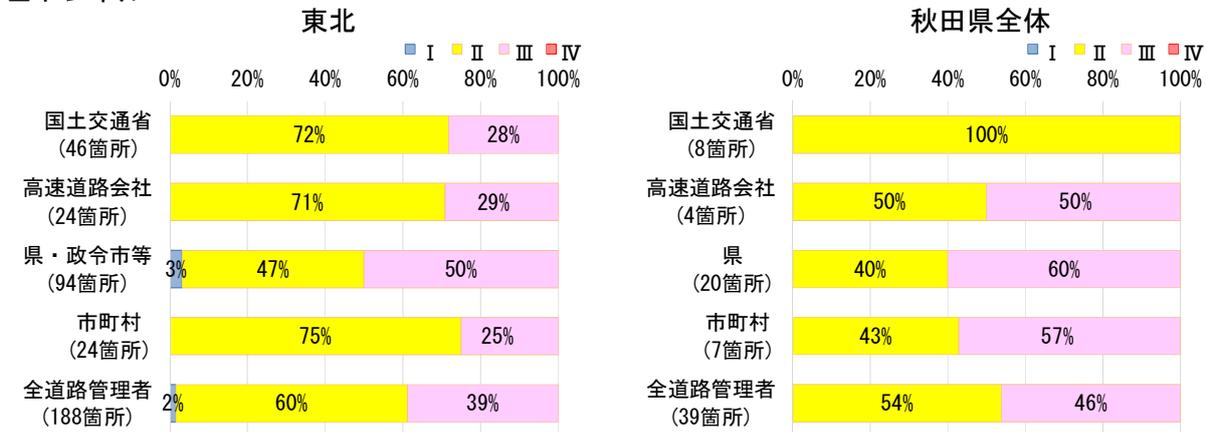


図6-11 2019年度(単年度)道路管理者別点検結果内訳

■ 道路附属物等

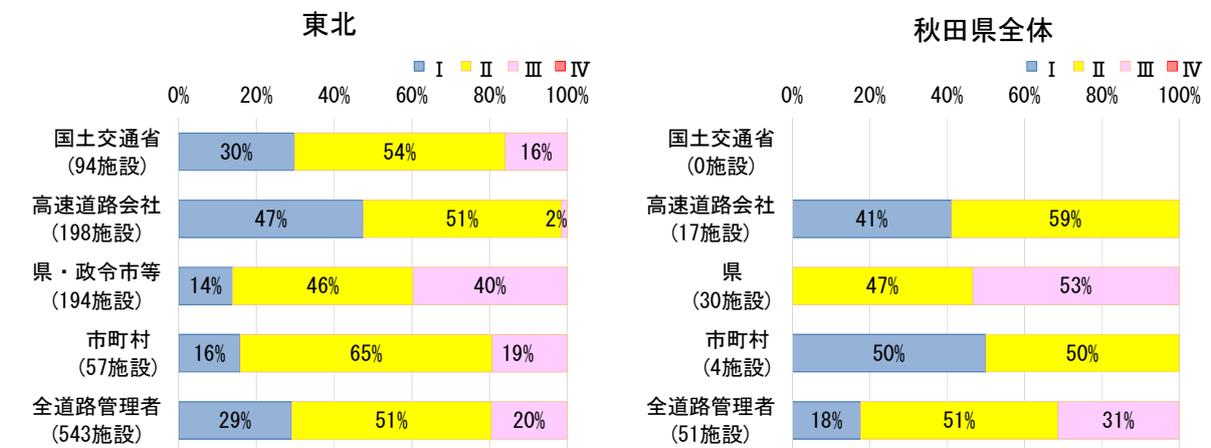


図6-12 2019年度(単年度)道路管理者別点検結果内訳

(4) 2019年度点検実施施設における道路管理者別判定区分の遷移状況

■ 橋梁

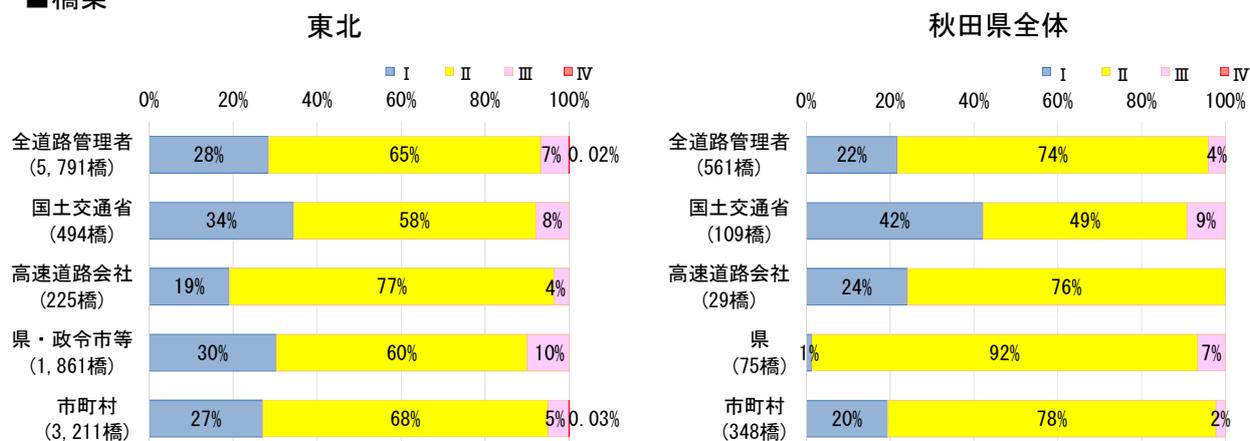


図6-13 道路管理者別判定区分の遷移状況

■ トンネル

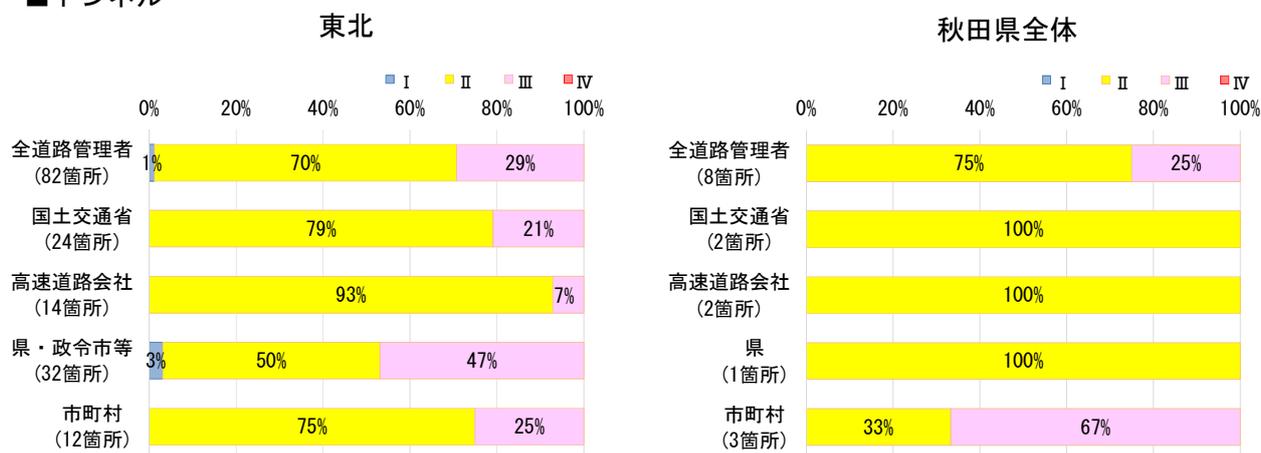


図6-14 道路管理者別判定区分の遷移状況

■ 道路附属物等

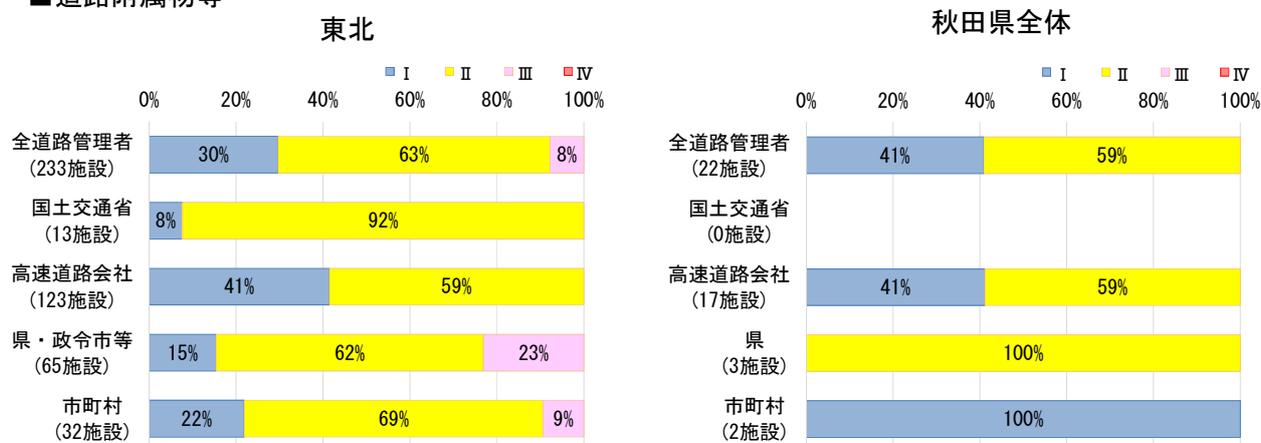


図6-15 道路管理者別判定区分の遷移状況

(5) 2019年度点検実施施設における建設年数別の遷移状況

■ 橋梁

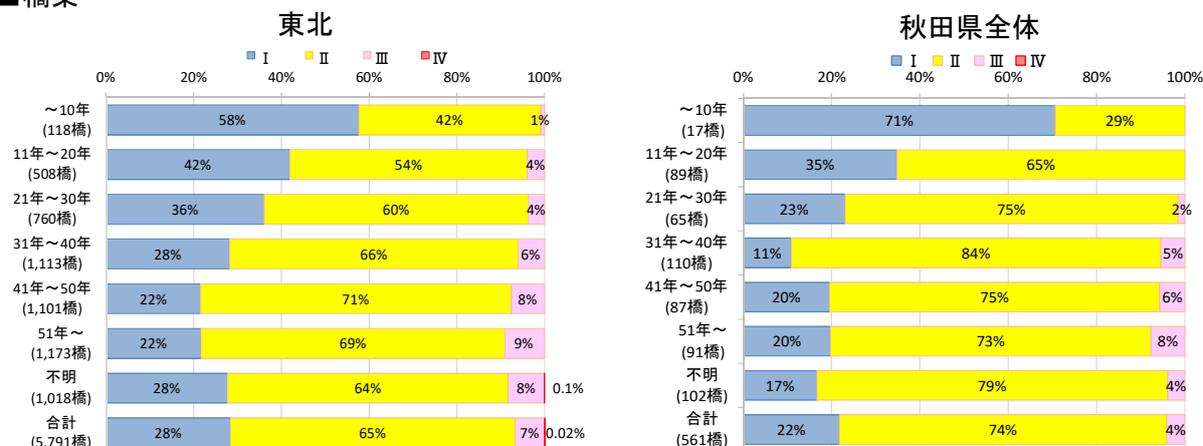


図6-16 建設年数別の判定区分の遷移状況

■ トンネル

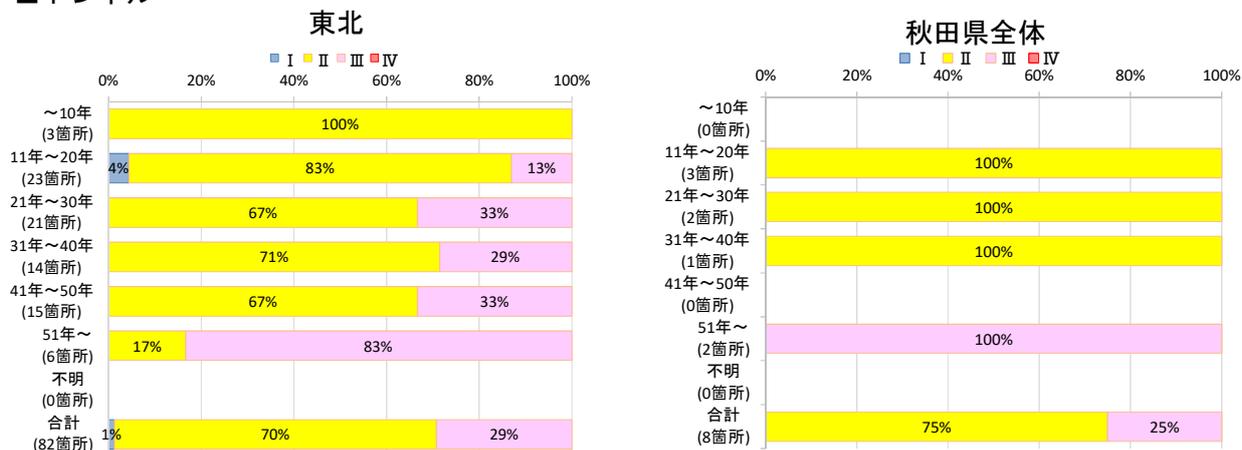


図6-17 建設年数別の判定区分の遷移状況

■ 道路附属物等

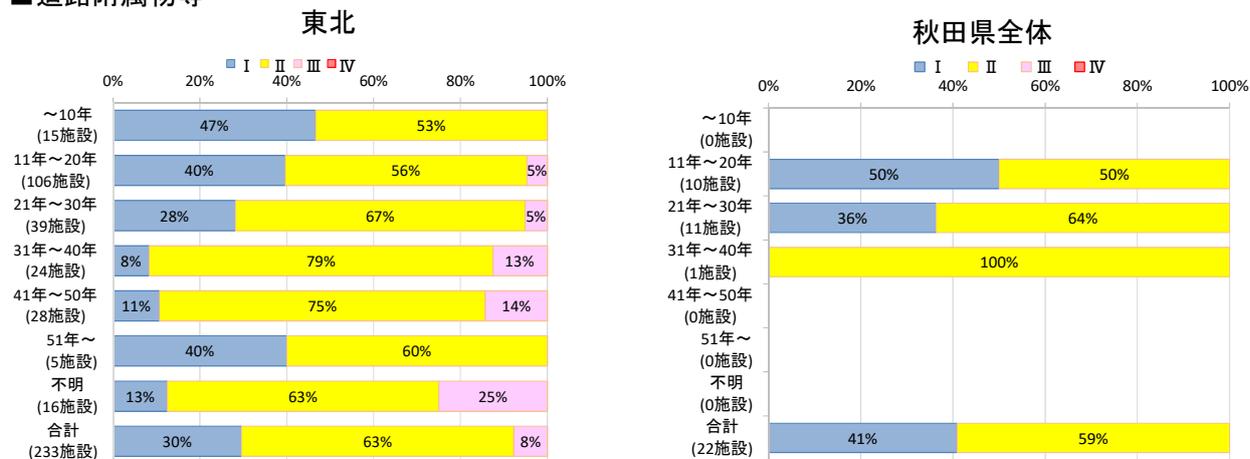


図6-18 建設年数別の判定区分の遷移状況

(6) 部材ごとの点検結果内訳 (橋梁)

1) 凍結抑制剤による部材への影響

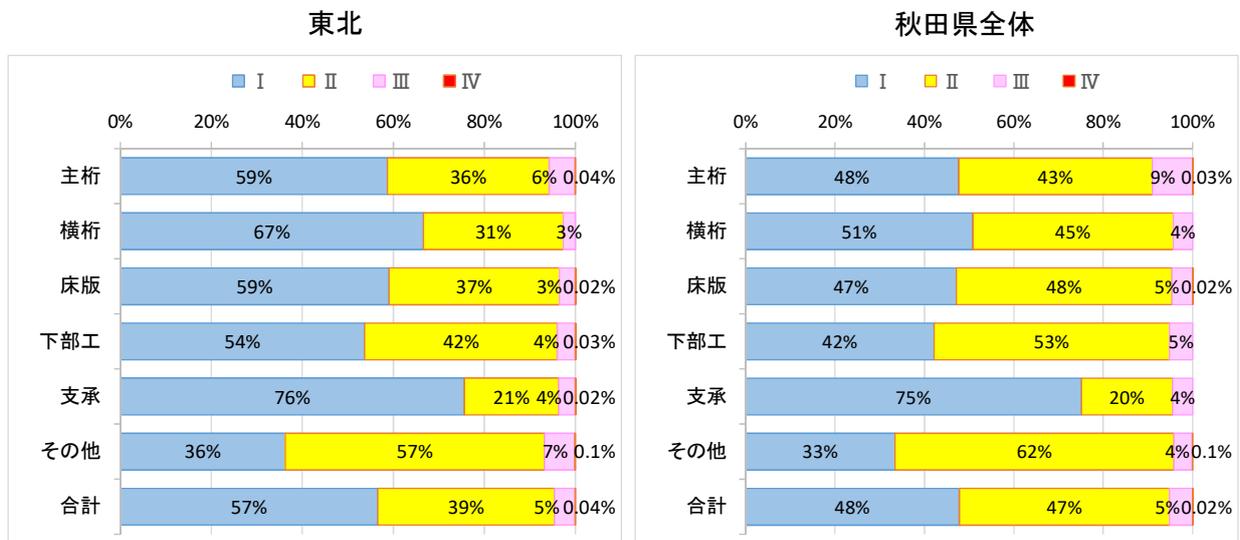


図 6-19 部材ごとの判定区分【散布量 20t/km/年未満】

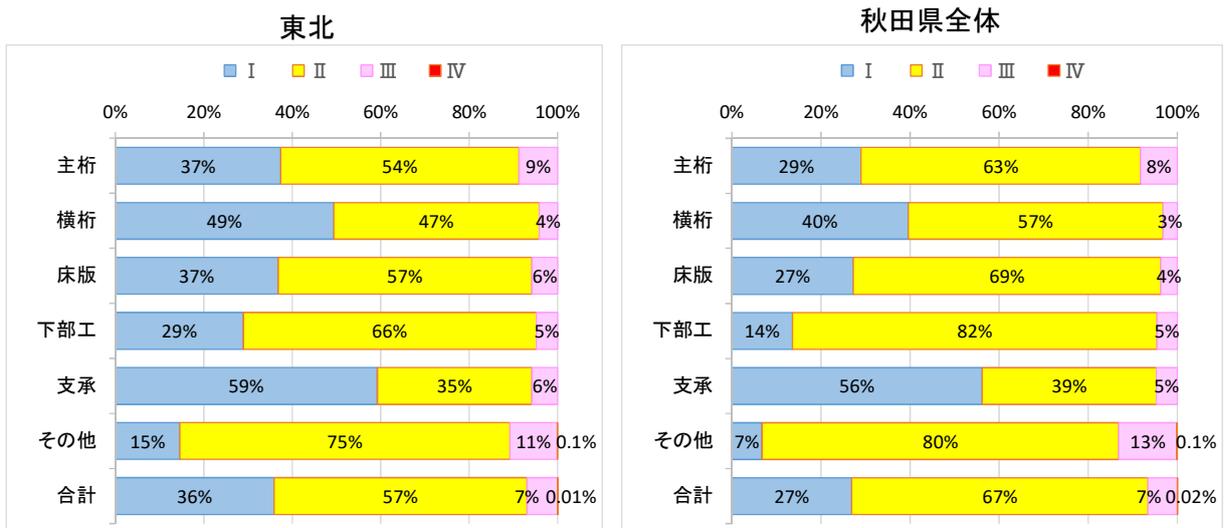


図 6-20 部材ごとの判定区分【散布量 20t/km/年以上】

※2017年度、2018年度、2019年度データをもとに集計

※凍結抑制剤散布量は聞き取り調査の結果、散布量不明のデータを除外した集計値

※その他；伸縮装置、地覆、高欄等の付属物

## 2) 塩害による部材への影響

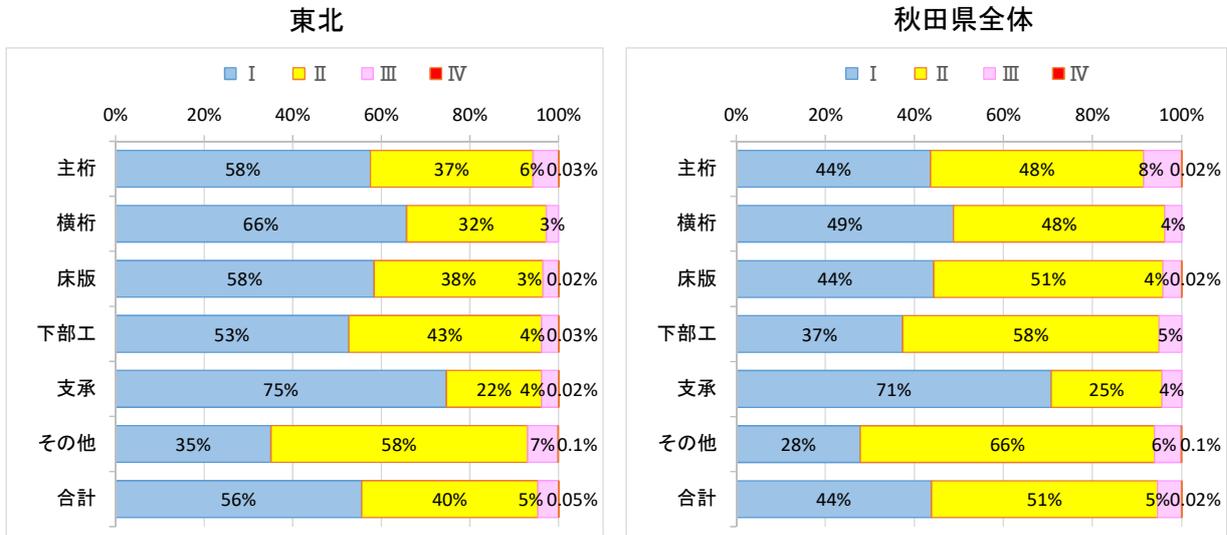


図6-2-1 部材ごとの判定区分【非塩害地域】

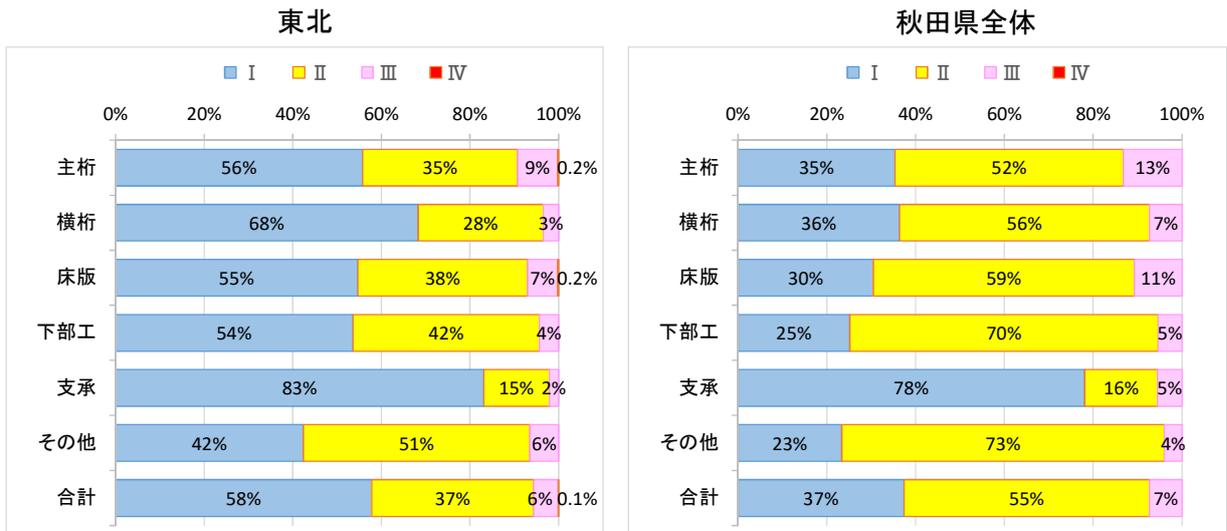


図6-2-2 部材ごとの判定区分【塩害地域】

※部材ごと内訳は、2017年度、2018年度、2019年度データをもとに集計  
 ※塩害の影響地域の区分は「橋、高架の道路等の技術基準」Ⅲコンクリート部材編  
 表-6.2.3より以下のとおり分類する。

非塩害地域：対策区分S、I、II、Ⅲに該当しない地域

塩害地域：対策区分S、I、II、Ⅲに該当する地域

※その他：伸縮装置、地覆、高欄等の付属物

(7) 判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳（橋梁）

■橋梁

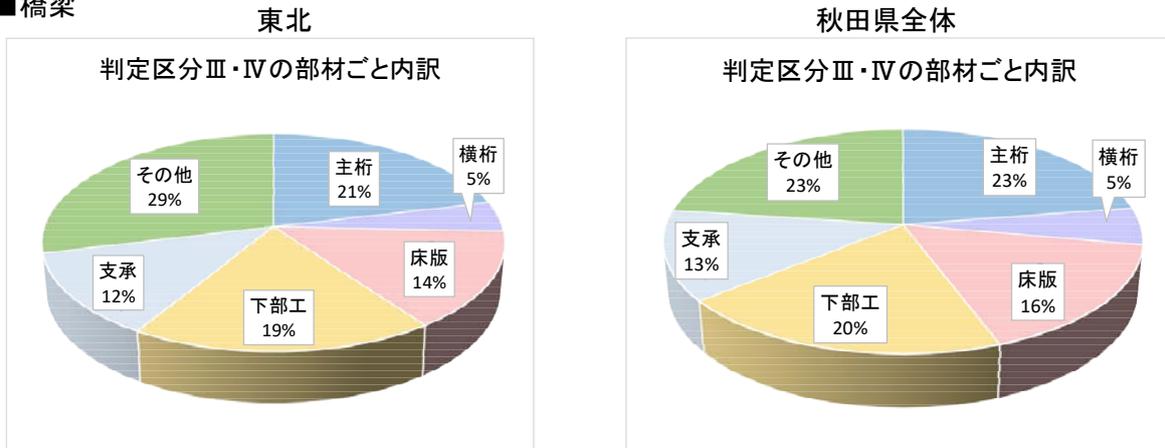


図6-23 判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳（全橋種）【橋梁】

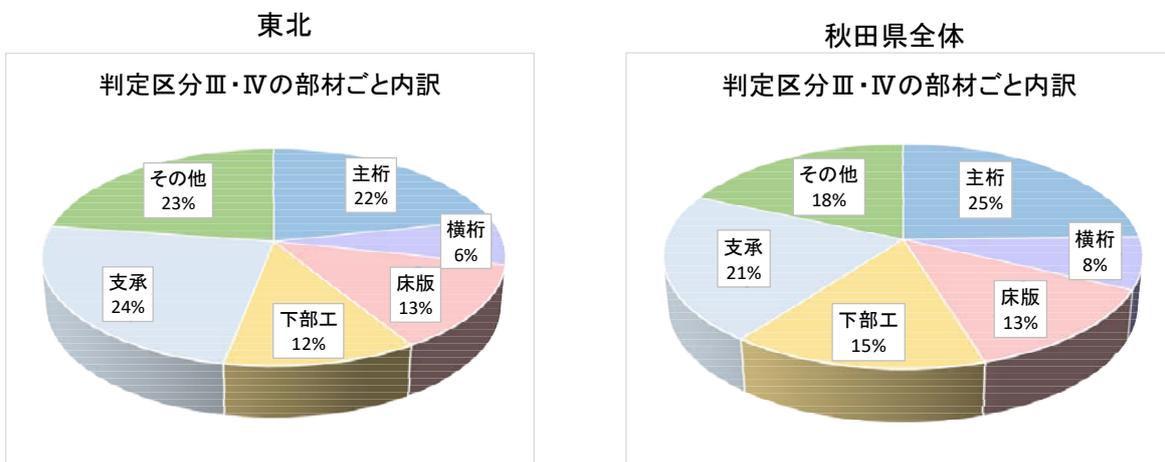


図6-24 判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳（鋼橋）【橋梁】

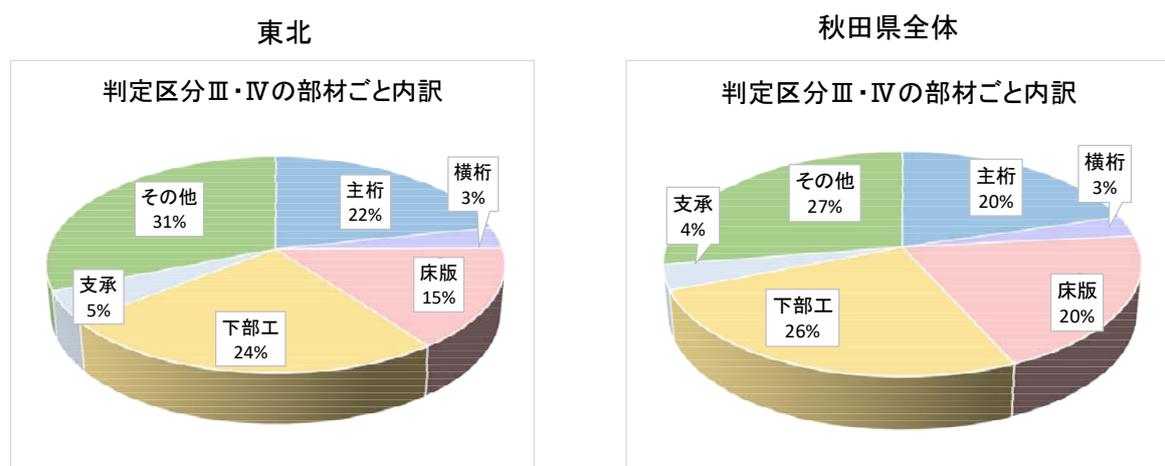


図6-25 判定区分Ⅲ・Ⅳの部材ごと内訳（コンクリート橋）【橋梁】

※2017年度、2018年度、2019年度データをもとに集計  
 ※その他；伸縮装置、地覆、高欄等の付属物

## 7 巻末資料

(1) 道路管理者別の管理施設数 .....	35
(2) 2019年度(単年度)道路管理者別の点検結果 .....	36
(3) 道路管理者別の1巡目点検施設の修繕等措置の実施状況 .....	39
(4) 判定区分Ⅳの施設リスト(2014年度～2019年度) .....	42
(5) 橋梁・トンネルの建設年度別施設数 .....	43

(1) 道路管理者別の管理施設数

管理者	管理者名	管理施設数						
		橋梁	トンネル	道路附属物等				
シェッド	大型カルバート			横断歩道橋	門型標識等			
国土交通省	秋田河川国道事務所	349	14	68	4	31	10	23
	湯沢河川国道事務所	197	4	43	0	21	8	14
	能代河川国道事務所	155	11	71	0	56	4	11
	国 小計	701	29	182	4	108	22	48
高速道路会社	NEXCO 東日本	372	20	104	1	73	0	30
県	秋田県	2,304	84	160	95	30	12	23
市町村	秋田市	713	6	4	0	3	0	1
	能代市	245	1	2	0	0	2	0
	横手市	1,253	5	2	1	0	1	0
	大館市	444	0	2	0	2	0	0
	男鹿市	205	0	0	0	0	0	0
	湯沢市	490	2	13	13	0	0	0
	鹿角市	443	0	0	0	0	0	0
	由利本荘市	900	6	0	0	0	0	0
	潟上市	162	0	0	0	0	0	0
	大仙市	1,349	1	15	0	15	0	0
	北秋田市	406	4	1	1	0	0	0
	にかほ市	271	0	0	0	0	0	0
	仙北市	523	6	0	0	0	0	0
	小坂町	59	0	0	0	0	0	0
	上小阿仁村	39	0	0	0	0	0	0
	藤里町	115	4	0	0	0	0	0
	三種町	147	0	0	0	0	0	0
	八峰町	70	0	4	0	0	4	0
	五城目町	110	0	0	0	0	0	0
	八郎潟町	22	0	1	0	1	0	0
	井川町	59	0	0	0	0	0	0
	大潟村	30	0	0	0	0	0	0
	美郷町	380	0	1	0	0	0	1
	羽後町	194	1	0	0	0	0	0
	東成瀬村	64	0	0	0	0	0	0
		市町村 小計	8,693	36	45	15	21	7
	合計	12,070	169	491	115	232	41	103

2020.3 末時点

(2) 2019 年度(単年度)道路管理者別の点検結果

■ 橋梁

表 7-1 2019 年度(単年度)道路管理者別の点検結果

管理者名	判定区分				合計
	I	II	III	IV	
秋田河川国道事務所	40	81	9	0	130
湯沢河川国道事務所	10	31	7	0	48
能代河川国道事務所	6	8	0	0	14
高速道路会社	11	50	5	0	66
秋田県	6	412	75	0	493
秋田市	18	60	25	0	103
能代市	6	34	6	0	46
横手市	41	239	20	0	300
大館市	2	20	34	0	56
男鹿市	9	33	3	0	45
湯沢市	26	67	16	2	111
鹿角市	32	39	37	0	108
由利本荘市	44	167	42	0	253
潟上市	1	83	17	0	101
大仙市	108	231	51	0	390
北秋田市	7	18	48	0	73
にかほ市	12	76	12	0	100
仙北市	0	0	0	0	0
小坂町	0	0	0	0	0
上小阿仁村	0	0	0	0	0
藤里町	0	0	0	0	0
三種町	0	0	0	0	0
八峰町	9	44	15	0	68
五城目町	5	7	2	0	14
八郎潟町	0	0	0	0	0
井川町	18	14	0	0	32
大潟村	0	0	0	0	0
美郷町	48	12	0	0	60
羽後町	0	0	0	0	0
東成瀬村	0	0	0	0	0
合計	459	1,726	424	2	2,611

2020.3 末時点

■トンネル

表 7-2 2019 年度(単年度)道路管理者別の点検結果

管理者名	判定区分				合計
	I	II	III	IV	
秋田河川国道事務所	0	5	0	0	5
湯沢河川国道事務所	0	3	0	0	3
能代河川国道事務所	0	0	0	0	0
高速道路会社	0	2	2	0	4
秋田県	0	8	12	0	20
秋田市	0	0	0	0	0
能代市	0	1	0	0	1
横手市	0	1	0	0	1
大館市	0	0	0	0	0
男鹿市	0	0	0	0	0
湯沢市	0	0	0	0	0
鹿角市	0	0	0	0	0
由利本荘市	0	0	0	0	0
潟上市	0	0	0	0	0
大仙市	0	0	0	0	0
北秋田市	0	1	0	0	1
にかほ市	0	0	0	0	0
仙北市	0	0	0	0	0
小坂町	0	0	0	0	0
上小阿仁村	0	0	0	0	0
藤里町	0	0	4	0	4
三種町	0	0	0	0	0
八峰町	0	0	0	0	0
五城目町	0	0	0	0	0
八郎潟町	0	0	0	0	0
井川町	0	0	0	0	0
大潟村	0	0	0	0	0
美郷町	0	0	0	0	0
羽後町	0	0	0	0	0
東成瀬村	0	0	0	0	0
合計	0	21	18	0	39

2020.3 末時点

■道路附属物等

表 7 - 3 2019 年度(単年度)道路管理者別の点検結果

管理者名	判定区分				合計
	I	II	III	IV	
秋田河川国道事務所	0	0	0	0	0
湯沢河川国道事務所	0	0	0	0	0
能代河川国道事務所	0	0	0	0	0
高速道路会社	7	10	0	0	17
秋田県	0	14	16	0	30
秋田市	1	0	0	0	1
能代市	0	2	0	0	2
横手市	0	0	0	0	0
大館市	0	0	0	0	0
男鹿市	0	0	0	0	0
湯沢市	0	0	0	0	0
鹿角市	0	0	0	0	0
由利本荘市	0	0	0	0	0
潟上市	0	0	0	0	0
大仙市	0	0	0	0	0
北秋田市	0	0	0	0	0
にかほ市	0	0	0	0	0
仙北市	0	0	0	0	0
小坂町	0	0	0	0	0
上小阿仁村	0	0	0	0	0
藤里町	0	0	0	0	0
三種町	0	0	0	0	0
八峰町	0	0	0	0	0
五城目町	0	0	0	0	0
八郎潟町	0	0	0	0	0
井川町	0	0	0	0	0
大潟村	0	0	0	0	0
美郷町	1	0	0	0	1
羽後町	0	0	0	0	0
東成瀬村	0	0	0	0	0
合計	9	26	16	0	51

2020.3 末時点

(3) 道路管理者別の1巡目点検施設の修繕等措置の実施状況

■ 橋梁

表7-4 1巡目点検施設、道路管理者別の判定区分Ⅲ、Ⅳ修繕等措置の実施数

A: 措置が必要な施設数 B: 措置に着手済の施設数  
C: 措置に着手済の施設数 D: 措置完了済の施設数

管理者名	2014				2015				2016				2017				2018				合計			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
秋田河川国道事務所	21	21	21	21	4	4	4	3	5	5	4	1	8	6	1	1	7	3	3	3	45	39	33	29
湯沢河川国道事務所	2	2	2	2	4	4	4	4	4	4	4	4	1	1	1	0	0	0	0	0	11	11	11	10
能代河川国道事務所	5	5	5	5	1	1	1	1	3	3	3	2	5	5	5	3	5	5	1	0	19	19	15	11
高速道路会社	0	0	0	0	2	2	1	1	1	1	0	0	5	3	2	2	8	2	0	0	16	8	3	3
秋田県	37	37	24	13	64	43	28	17	68	39	25	14	19	5	1	0	50	16	12	1	238	140	90	45
秋田市	39	25	23	22	33	17	15	15	15	7	0	0	2	0	0	0	9	3	1	1	98	52	39	38
能代市	9	8	6	3	12	12	8	5	7	7	6	5	2	2	2	0	4	4	4	3	34	33	26	16
横手市	0	0	0	0	4	4	1	1	30	6	3	3	12	0	0	0	15	2	0	0	61	12	4	4
大館市	0	0	0	0	39	9	6	4	17	1	1	1	7	0	0	0	8	0	0	0	71	10	7	5
男鹿市	2	2	2	1	12	4	4	4	3	1	1	1	5	0	0	0	1	0	0	0	23	7	7	6
湯沢市	21	7	4	3	7	0	0	0	17	0	0	0	4	4	4	4	11	6	3	2	60	17	11	9
鹿角市	0	0	0	0	14	7	2	0	39	2	0	0	17	0	0	0	5	2	1	1	75	11	3	1
由利本荘市	0	0	0	0	54	10	5	3	43	1	1	0	19	1	1	1	13	0	0	0	129	12	7	4
潟上市	13	0	0	0	11	6	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	24	6	5	3
大仙市	0	0	0	0	65	11	6	6	16	4	2	2	5	2	0	0	23	2	2	2	109	19	10	10
北秋田市	48	19	13	10	9	1	0	0	23	2	2	2	21	4	1	0	2	0	0	0	103	26	16	12
にかほ市	7	6	2	2	19	5	4	4	13	0	0	0	2	2	0	0	2	1	1	0	43	14	7	6
仙北市	0	0	0	0	29	4	2	0	6	2	1	1	8	0	0	0	0	0	0	0	43	6	3	1
小坂町	0	0	0	0	4	4	4	4	0	0	0	0	4	1	0	0	2	0	0	0	10	5	4	4
上小阿仁村	0	0	0	0	1	0	0	0	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	3	1	1
藤里町	0	0	0	0	13	10	9	9	13	5	3	3	0	0	0	0	2	0	0	0	28	15	12	12
三種町	0	0	0	0	5	5	3	3	0	0	0	0	4	0	0	0	4	0	0	0	13	5	3	3
八峰町	22	16	13	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	16	13	13
五城目町	7	0	0	0	6	0	0	0	5	0	0	0	3	0	0	0	1	0	0	0	22	0	0	0
八郎潟町	0	0	0	0	1	1	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	1
井川町	1	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	1	1	4	4	3	3
大潟村	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	1	1
美郷町	0	0	0	0	17	13	5	2	11	9	4	4	6	2	1	1	0	0	0	0	34	24	10	7
羽後町	0	0	0	0	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1
東成瀬村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	234	149	116	96	433	179	119	91	349	104	63	46	159	38	19	12	174	48	29	14	1,349	518	346	259

※1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除いた施設数(2020.9末時点)

■トンネル

表 7-5 1 巡目点検施設、道路管理者別の判定区分Ⅲ、Ⅳ修繕等措置の実施数

A: 措置が必要な施設数 B: 措置に着手済の施設数  
C: 措置に完工済の施設数 D: 措置完了済の施設数

管理者名	2014				2015				2016				2017				2018				合計			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
秋田河川国道事務所	3	3	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	9	9	5	3	0	0	0	0	12	12	8	6
湯沢河川国道事務所	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2
能代河川国道事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	2	2	0	0	2	2	0	0	5	5	1	1
高速道路会社	1	1	1	0	2	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	4	3	0
秋田県	12	12	12	12	14	7	3	2	3	2	2	1	1	0	0	0	4	0	0	0	34	21	17	15
秋田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
能代市	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
横手市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大館市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
男鹿市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
湯沢市	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
鹿角市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
由利本荘市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
潟上市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大仙市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
北秋田市	0	0	0	0	1	0	0	0	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	2	1
にかほ市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
仙北市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0
小坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
上小阿仁村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
藤里町	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2
三種町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
八峰町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
五城目町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
八郎潟町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
井川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
大潟村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
美郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
羽後町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
東成瀬村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	21	21	21	20	19	9	5	2	7	6	5	3	14	11	5	3	6	2	0	0	67	49	36	28

※1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除いた施設数(2020.9末時点)

■道路附属物等

表7-6 1 巡目点検施設、道路管理者別の判定区分Ⅲ、Ⅳ修繕等措置の実施数

A：措置が必要な施設数 B：措置に着手済の施設数  
C：措置に着工済の施設数 D：措置完了済の施設数

管理者名	2014				2015				2016				2017				2018				合計			
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
秋田河川国道事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3	2	1	3	3	0	0	1	0	0	0	7	6	2	1
湯沢河川国道事務所	0	0	0	0	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2
能代河川国道事務所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	1	1	0
高速道路会社	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2	1	1	1
秋田県	19	19	7	1	46	31	21	11	12	5	4	3	6	3	1	1	0	0	0	0	83	58	33	16
秋田市	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1
能代市	2	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	2
横手市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大館市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
男鹿市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
湯沢市	0	0	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	0	0	0
鹿角市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
由利本荘市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
潟上市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大仙市	0	0	0	0	3	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	1	1
北秋田市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
にかほ市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
仙北市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小坂町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上小阿仁村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤里町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
三種町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八峰町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
五城目町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八郎潟町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
井川町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大潟村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
美郷町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
羽後町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東成瀬村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	21	21	9	3	54	34	24	14	20	10	8	6	10	6	1	1	3	1	1	0	108	72	43	24

※1 巡目点検における判定区分Ⅲ、Ⅳの施設のうち、点検対象外となった施設を除いた施設数(2020.9末時点)

(4) 判定区分Ⅳの施設リスト (2014年度～2019年度)

■橋梁

○判定区分Ⅳの橋梁の措置状況 (予定含む)

管理者	計	管理中				撤去・ 廃止済 ※2	計
		修繕・ 架替	撤去・ 廃止	機能転換 ※1	対応未定		
市町村	12	5	5	0	0	2	12

※1: 機能転換とは、既存の施設を、他の施設として利用すること。

※2: 判定後、撤去・廃止により管理施設から除外されたもの。

※国土交通省、高速道路会社、県管理の橋梁は健全度Ⅳの施設なし。

○市町村 (12橋)

管理者	施設名	路線名	建設 年度	点検 実施 年度	損傷の具体的内容	緊急措置 内容	緊急措置後の 恒久的な措置 (2020.3月末時点)
秋田市 (秋田県)	よもぎだはし 蓬田橋2	蓬田1号線	不明	2014	主桁の折れ	全面通行 止	修繕済
能代市 (秋田県)	げたひらごう 下田平2号 きょう 橋	上ノ野川端 線	1969	2014	下部工の欠損	全面通行 止	撤去済
男鹿市 (秋田県)	うまたてばいごう 馬立場一号 きょう 橋	仁井沢開線	1953	2014	鋼部材の腐食破断	通行規制 (普通車 以上)	廃止済
湯沢市 (秋田県)	かわいばし 川井橋	市道中山・ 小淵ヶ沢線	1966	2014 2019	橋脚のひびわれ	通行規制 (6t)	撤去予定
湯沢市 (秋田県)	おやすばし 小安橋	市道寒沢線	1962	2014 2019	鋼部材の腐食	全面通行 止	廃止予定
大仙市 (秋田県)	わごうばし 和合橋	中宿和合線	1967	2018	鉄筋露出(腐食あり)	全面通行 止	撤去予定
北秋田市 (秋田県)	せんどういしはし 仙戸石橋	仙戸石線	1965	2014	橋台背面土砂の崩落	全面通行 止	修繕済
北秋田市 (秋田県)	いゑしたごう 家の下2号 きょう 橋	綴子家の下 線	1978	2014	橋脚の亀裂	通行規制 (6t)	修繕済
北秋田市 (秋田県)	わっこばし 根子橋	根子線	1975	2014	床版のひびわれ	通行規制	修繕済
北秋田市 (秋田県)	まえやまばし 前山橋	打当前山線	1971	2014	床版の漏水、うき	通行規制 (片側)	修繕済
上小阿仁村 (秋田県)	かみこあにばし 上小阿仁橋	長信田羽立 線	1937	2015	主桁の鉄筋露出、断面 欠損	全面通行 止	撤去中
五城目町 (秋田県)	おおだいばし 大台橋	町道大台線	1969	2018	橋脚のひびわれ	車両通行 止め	廃止予定

■トンネル (0箇所)

■道路附属物等 (0施設)

(5) 橋梁・トンネルの建設年度別施設数

■橋梁

建設年度	国土 交通省	高速 道路会社	県	市町村
1920 以前	0	0	0	0
1921	0	0	0	2
1922	0	0	0	1
1923	0	0	0	0
1924	0	0	2	0
1925	0	0	2	0
1926	0	0	0	3
1927	0	0	0	0
1928	0	0	0	3
1929	0	0	1	1
1930	0	0	3	0
1931	0	0	3	1
1932	0	0	1	2
1933	0	0	3	3
1934	0	0	2	0
1935	0	0	4	11
1936	0	0	2	7
1937	1	0	1	3
1938	0	0	1	4
1939	0	0	0	0
1940	0	0	0	3
1941	0	0	0	17
1942	0	0	0	0
1943	0	0	1	0
1944	0	0	0	1
1945	2	0	0	3
1946	0	0	0	2
1947	0	0	0	5
1948	0	0	1	8
1949	0	0	0	0
1950	0	0	0	11
1951	0	0	6	18
1952	0	0	2	18
1953	0	0	2	14
1954	0	0	2	34
1955	2	0	3	20
1956	1	0	0	14
1957	2	0	7	33
1958	11	0	9	50
1959	2	0	7	43
1960	14	0	22	71
1961	11	0	18	116
1962	12	0	23	102
1963	9	0	21	83
1964	14	0	24	104
1965	22	0	39	160
1966	25	0	43	115
1967	13	0	34	133
1968	10	0	38	150
1969	18	0	37	142
1970	10	0	43	190

建設年度	国土 交通省	高速 道路会社	県	市町村
1971	1	0	55	238
1972	5	0	29	230
1973	8	0	32	205
1974	20	0	42	199
1975	7	0	16	183
1976	12	0	25	156
1977	7	0	25	151
1978	28	0	19	147
1979	12	0	32	148
1980	25	0	31	205
1981	18	2	24	143
1982	10	6	18	106
1983	11	31	18	115
1984	11	19	20	110
1985	7	10	19	123
1986	8	27	21	136
1987	6	0	28	96
1988	12	2	39	99
1989	12	8	19	93
1990	10	24	22	107
1991	9	54	19	96
1992	2	2	33	93
1993	3	6	13	79
1994	1	23	30	101
1995	6	2	14	64
1996	2	18	23	82
1997	5	37	25	61
1998	7	11	22	63
1999	6	0	17	49
2000	13	0	39	55
2001	12	11	32	58
2002	7	62	34	57
2003	13	8	19	43
2004	42	3	14	58
2005	18	0	9	27
2006	19	0	14	25
2007	36	0	13	32
2008	7	0	4	11
2009	16	0	9	12
2010	16	0	3	19
2011	6	0	7	17
2012	6	3	8	19
2013	10	0	6	10
2014	7	0	5	21
2015	2	0	4	7
2016	2	0	3	5
2017	3	0	2	3
2018	3	0	1	6
2019	0	3	1	4
不明	13	0	940	2,825
総計	701	372	2,304	8,693

2020.3 末時点

■トンネル

建設年度	国土 交通省	高速 道路会社	県	市町村
1920 以前	0	0	0	0
1921	0	0	0	0
1922	0	0	0	0
1923	0	0	0	0
1924	0	0	0	0
1925	0	0	0	0
1926	0	0	0	0
1927	0	0	0	6
1928	0	0	0	0
1929	0	0	0	0
1930	0	0	3	0
1931	0	0	0	0
1932	0	0	0	0
1933	0	0	0	0
1934	0	0	0	0
1935	0	0	0	0
1936	0	0	0	0
1937	0	0	0	0
1938	0	0	0	0
1939	0	0	0	0
1940	0	0	0	0
1941	0	0	0	1
1942	0	0	0	0
1943	0	0	0	0
1944	0	0	0	0
1945	0	0	0	0
1946	0	0	0	0
1947	0	0	0	0
1948	0	0	0	0
1949	0	0	0	0
1950	0	0	0	0
1951	0	0	0	0
1952	0	0	1	0
1953	0	0	0	0
1954	0	0	0	0
1955	0	0	0	0
1956	0	0	0	0
1957	0	0	0	0
1958	0	0	0	0
1959	0	0	0	0
1960	0	0	0	1
1961	0	0	0	0
1962	0	0	2	0
1963	0	0	0	1
1964	0	0	0	3
1965	0	0	1	0
1966	0	0	0	0
1967	0	0	0	0
1968	0	0	0	1
1969	0	0	0	0
1970	0	0	0	1

建設年度	国土 交通省	高速 道路会社	県	市町村
1971	0	0	0	0
1972	3	0	2	0
1973	4	0	1	0
1974	0	0	2	0
1975	0	0	0	2
1976	0	0	1	0
1977	0	0	2	0
1978	0	0	2	2
1979	1	0	3	1
1980	0	0	2	0
1981	1	0	3	0
1982	1	4	2	0
1983	0	2	4	1
1984	0	0	2	0
1985	0	0	1	0
1986	0	4	3	1
1987	2	0	2	0
1988	0	0	2	1
1989	0	0	1	1
1990	0	1	2	0
1991	0	0	1	0
1992	0	0	0	0
1993	0	3	1	1
1994	0	2	3	0
1995	1	0	2	0
1996	1	0	3	2
1997	0	0	2	2
1998	1	0	2	1
1999	0	0	1	1
2000	0	0	4	0
2001	0	1	4	2
2002	0	3	5	0
2003	0	0	0	0
2004	0	0	0	2
2005	0	0	3	1
2006	1	0	0	0
2007	6	0	5	1
2008	1	0	1	0
2009	0	0	0	0
2010	0	0	0	0
2011	2	0	1	0
2012	2	0	0	0
2013	1	0	0	0
2014	0	0	1	0
2015	1	0	0	0
2016	0	0	0	0
2017	0	0	0	0
2018	0	0	0	0
2019	0	0	0	0
不明	0	0	1	0
総計	29	20	84	36

2020.3 末時点

## 秋田県道路メンテナンス会議（構成機関）

秋田県建設部道路課	大潟村産業建設課
鹿角市建設部都市整備課	由利本荘市建設部建設管理課
小坂町建設課	にかほ市農林水産建設部建設課
大館市建設部土木課	大仙市建設部道路河川課
北秋田市建設部建設課	仙北市建設部建設課
上小阿仁村建設課	美郷町建設課
能代市都市整備部道路河川課	横手市建設部建設課
藤里町生活環境課	湯沢市建設部建設課
三種町建設課	羽後町建設課
八峰町建設課	東成瀬村建設課
秋田市建設部道路維持課	東日本高速道路株式会社東北支社
男鹿市産業建設部建設課	東北地方整備局道路部
潟上市産業建設部都市建設課	東北地方整備局秋田河川国道事務所
五城目町建設課	東北地方整備局湯沢河川国道事務所
八郎潟町建設課	東北地方整備局能代河川国道事務所
井川町産業課	市町村橋梁等長寿命化連絡協議会（オブザーバー）

会 長 東北地方整備局秋田河川国道事務所長  
副会長 秋田県建設部道路課長  
事務局 秋田県建設部道路課  
東北地方整備局道路部  
東北地方整備局秋田河川国道事務所道路管理第二課  
東北地方整備局東北技術事務所維持管理技術課

### 問い合わせ窓口（事務局）

○秋田県 建設部 道路課 道路環境・維持班 電話 018-860-2488（直通）
○東北地方整備局秋田河川国道事務所 道路管理第二課 メンテナンス担当 電話 018-864-2292（直通）